学校法人浪越学園

日本指圧専門学校同窓会

会報

第 36 号

発行年月日　平成27年５月１日
発 行 人　会長　川原善次郎
編 集 者　黒沢　純一
　　金子　智久
　　大久保　直子
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川２－12－４
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題 字　山内　貞史郎
http://www.shiatsu-obog.com/

卒業後の情報交換をお願いします

日本指圧専門学校同窓会 会長
川原 善次郎

昭和12年（１９３７年）樺太（現在ロシアのサハリン）で生まれ、終戦の年８歳でした。平成26年で77歳になりました。昭和23年（１９４８年）から北海道雨竜郡北竜村（現在北竜町）で育ちました。昭和39年（１９６４年）東京オリンピックの年に結婚し50年になりました。昭和45年（１９７０年）から静岡県富士市に住み現在に至ります。昭和60年（１９８５年）日本指圧専門学校を卒業し、同時に開業して30周年になります。川原指圧健康堂の屋号で指圧治療院を始め、一般診療と保険診療を続けて多くの方に喜ばれて居ります。市民講座家庭指圧教室も永く続け、多くの方に喜ばれています。

阪神・淡路大震災からはや20年、近年は地球全体の異変で世界中がひっくりかえる様な異常が気になる所です。住みよい我が富士市でも最近、富士山の噴火等を噂され心配です。同窓会会員の皆様にはお変りない事を祈っております。指圧学校卒業後の指圧研修会も多くの参加者が有り、講師も卒業生で経験者を頼み、治療等に生かされる技術発表の場としても続けられております。これも会員諸先輩方のご理解によるご寄付で賄われて居ります事に、厚く感謝申し上げます。

少し心配な事は、最近指圧学校を卒業された同窓会員には、個人情報保護法とかで連絡が取りづらい事が非常に残念です。同窓会活動の案内を送る事も出来ず、同窓生から同窓会に情報も頂けない、同窓生の皆さん、同窓会へ情報を沢山寄せて下さい。これからの社会情勢に乗り遅れないように、お互いの情報交換が大事です。我々医療関係者は介護事業にも参入していかなくてはならない時代です。指圧マッサージに軽い機能運動等も指圧治療の中で使える様にならなければなりません。スポーツマッサージにも指圧を取り入れて行きましょう。指圧の凄さは何処ででも出せます様に、自分の手技は指圧です、と自信を持って胸をはって下さい。

嬉しい話も有りました。オランダの国王さまに指圧治療をした方が卒業生同窓会に居りまして、大変良いマッサージを受けたと褒められたそうです。何処でどのような人を指圧する事が有るか分かりません。基本指圧と技術を身につけましょう。

自分の指圧に自信を持って私の手技は指圧です、と言える技術を身につけられると、指圧も楽しくなります。皆さんとの情報交換をしながら、同窓会も頑張ります。

日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太（49期）

平成26年度　通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の平成26年度通常総会が、平成26年６月８日（日）早稲田のリーガロイヤルホテル東京にて開催されました。

出席者は在校生も含め約90名、定刻10時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

大場裕之先生の司会のもと、君が代斉唱、川原善次郎会長の挨拶と続き、石塚寛名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は、①平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告、②平成26年度事業計画案及び予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により承認されました。

その後の記念講演では、「身体の健康、心の健康」－脳の科学から考える－と題して、ＮＰＯ法人国際総合研究機構 副理事長であられる河野貴美子先生による講話が行われました。なかにはビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらっしゃいました。また、河野先生は脳の科学がご専門であられるので、興味深い内容を沢山お話頂き、スライドの上映も相まって大変好評でした。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、進められました。日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、同窓会会長川原善次郎先生の会長挨拶と続き、乾杯の挨拶の後、新運営委員の紹介が行われ、ご挨拶を頂き、続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたこともあり、思い出話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。新旧会員の交流が盛んに出来た事と思います。

最後に、校歌を全員で斉唱し、鈴木林三副会長による詩吟、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

＊本総会の記念講演「身体の健康、心の健康」－脳の科学から考える－の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧頂けます。

URL:
http://www.shiatsu-obog.com/

講演要旨

「身体の健康、心の健康」
―脳の科学から考える―

国際総合研究機構　河野貴美子

脳の科学は、コンピュータテクノロジーの進歩により、美しいさまざまな画像処理が可能になったが、脳そのものの解明が十分に進んだとはまだまだいえない状況である。ここでは、電気的な調節機構である神経系、特に脳波を中心に、今まで私が実験を通じて考えてきたことをお話しながら、リラックス・緊張と心、そして脳の機能について考えてみたい。

脳波ではα波がリラックスの脳波として一般に知られているが、誤解も多い。脳波は脳の神経細胞における電気現象の総和を頭皮上からみているものであるが、その内のα波とは閉眼時に後頭部に大きく現れる10Hz前後の律動波で、どちらかというとニューロン活動の抑制系指標である。

私は今まで、気功、瞑想、各種リラクゼーション法実施中、各種脳力開発法実施中等、様々な方々の脳波を計測してきた。そのような中から、意識とは何か、心とは何か、脳の観察でどこまで分かるか等、いろいろ考えてきた。

ヒトにおいて、意識的とは言語的思考をさすことが多く、左脳は意識の脳、それに対して右脳は他人に伝え難いイメージ等の脳として無意識の脳と捉えられることが多い。また、右脳であれ、左脳であれ、大脳新皮質部分はヒトにおいて発達した考える脳、すなわち意識的な脳と捉え、内側の旧皮質部分は動物的、本能的な無意識の脳という考え方も出来る。しかし、その大脳新皮質であっても各感覚器官（視覚、聴覚等）からの入力直後は、まだ本人がその情報を意識できているわけではなく、その後、神経回路内を、次々信号を受け渡しながら、入力情報の解析を行って初めて、意識に上るともいえ、どこで意識化されるのかは難しい問題である。

情報のやり取りが頻繁な回路は、速い、効率の良い回路になっていくが、それは徐々に無意識的に処理できるようになるということでもある。ストンと納得する、何かに秀でてエキスパートになるような過程は、ある意味、情報処理の無意識化の過程であるともいえるのである。

そのための王道はなく、とにかく何度も繰り返しながら良い回路を構築して行くことしかない、というのが脳の科学からの結論といえるだろうか。

平成26年度　指圧実技講習会

指圧実技講習会が本年度も実施されました。

第22回目は7月27日に母校において行われ、42期石川雅之先生と18期木下誠先生よりご講義頂きました。

第23回目は10月26・27日に箱根にて、20期海上富雄先生と49期中盛祐貴子先生によるご講義を頂きました。

来年度も全国津々浦々に広がる同窓生のご協力の下で講習会を開催したいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

第23回 指圧実技講習会（学校）

生活の手段としての在宅マッサージについて 石川雅之先生の講習を受けて

55期　大谷　寛

先生が話された中で、施術中は楽しくなければならない、更に笑いがなければならないと語られた事が、とても勉強になりました。

今年、卒業、免許取得、未だ施術の就労をしていない自分ですが、4月から6月まで95歳のお婆さんを週1時間施術。主訴は両下腿の浮腫みで足が辛い。基礎疾患は慢性腎不全、そして認知症もあり、家族の姿を5分も見なければ騒ぎ始める。家族の方からは施術中の1時間は家族の時間を作ってくださいとのことでした。

最初のひと月は、あマ指となり臨床現場に出た事が楽しく、施術事故に細心の注意を払い行いました。次の段階では施術効果をだすには如何したら良いのか。浮腫みを取る技術とは如何したら良いのかを考え施術しました。しかし、そもそも慢性腎不全が手技で改善するのかと思い始めました。2か月を過ぎた時、家族の方から施術中、お婆さんともっと会話をして欲しいと要望がありました。え～95歳のお婆さんとどんな会話をしたら良いのかを考え、3か月を過ぎようとしている時、お婆さんは御迎えをむかえました。

それ以後、自分の行った施術が如何に有るべきだったかを考えていた時に、石川先生の施術中は楽しくなければならない。と語られたことがとても勉強になりました。

最後に、今回この講義を企画し実行してくださった石川先生、同窓会幹事の方々、ありがとうございました。

実技講習会第2講座「慢性腰痛」に参加して

50期　田中慶篤

はじめに

第1講座の石川雅之先生「生活の手段としての在宅マッサージについて」に深い共感の余韻を残しながら、木下誠先生の第2講座「慢性腰痛に対する指圧療法」が始まり、先生特有の駄洒落を頻発、自らウケを求めながらの講座は、笑いを誘い、学生時代の授業風景を彷彿させるものでした。

講座の流れは、概ね下記の内容で行われました。

1、腰痛分類の解説

2、慢性腰痛指圧治療の模範実技

3、受講生相互実技及び指導

4、質疑応答

1、腰痛分類の解説

腰痛の的確な判断基準となる原因を、脊柱由来疾患と臓器由来疾患に分類、さらに①随伴症状②下肢神経症状③腰痛のみに分類され、腰痛の事象に付随する症状の重要性を強調されていました。また、私たちが腰痛の指圧治療をする上で、単一腰髄神経根障害と下肢神経学的所見の一覧表は有用な参考資料となるものでした。

2、慢性腰痛指圧治療の模範実技のポイント

①伏臥位で膝関節を屈曲、股関節を外転外旋させた状態にする。

②殿部の大転子近くを起点として、腸骨稜に向かって6～7点、30度間隔で放射状（4方向）に圧す。

③横臥位で腰部の指圧：側腹部から腰椎棘突起際間まで7列、腸骨稜上部から肋骨に向かって圧す。

※誤って肋骨を圧さないことが重要である。

④基本指圧による施術：①～③の後、伏臥位で仙骨部からの下肢末端、仰臥位で単径部から下肢末端及び腹部指圧。

学校講習会　第２部　木下先生講習風景

〈私見〉

1、②のイメージは殿部全体を点と線で結び、網の目状に圧す形になるとか思います。

2、私の場合、伏臥位が難しい患者さんが殆どなので、翌日実際に横臥位で試みたところ、不完全ながらも問題なくできました。しかし横臥位の場合はむしろ逆方向、腸骨稜から大転子に向かい、さらに殿部を放射状に圧したほうが自然ではないかと感じました。

3、腰痛治療については基本指圧をベースに、諸先生による様々なアプローチも参考にしながら、ベストミックスな形で取り組むべきだと思いました。

4、腰痛のメカニズムについては未知の部分も残されており、その圧（治療）が患部にどのように作用して腰痛を和らげるのかについての証明は、私たちに与えられた研究課題だと考えます。

おわりに

今回のテーマは、木下誠先生にとって80回目の講座（授業以外）だということで、慢性腰痛治療のゆるぎない定番だといえます。それだけに今後はメディアを通じて、内から外に向かって広く情報発信して頂きたいと思います。

私たち受講生は、このような同窓会主催の実技研修会を通じて、自身の指圧技術のレベルを向上させ、実際の指圧治療に活かすことはもとより、徳治郎先生から直接薫陶を受けられた諸先生による、浪越指圧の心と技を吸収、消化して次世代に繋げてゆく役割も担っていると考えます。

また、実技研修会は諸先生及び先輩、後輩、級友との懐かしい出会いがあり、お互いに旧交を温め合う場でもありました。

第22回 指圧実技講習会（箱根）

研修レポート

48期　竹下　仁

私は48期に卒業し、兼業ですが、その時から自宅にて治療院を開業し、現在迄まあまあの状況で推移しています。従って、今回は指圧を1人で業としているものとして感じたことを書かせて貰います。

今回の講習会は、一言で言って勉強になりました。又、指圧業成否のポイントがリピーターになってもらえる率で決まるのかな？が再認識できました。それは、私が兼業している職種が１００％高級オーダースーツの製作販売ですが、全く指圧業と重なりました。

本件は、分かりやすく言えば、スーツの場合は当ブランドスーツを買ってよかった、この人からで良かったと思われる結果を作る事です。指圧の場足も高価な買物です。スーツと同じで、指圧を受けて良かった、今日の指圧師さんでよかったとなるのではと思います。

その様な視点で私が感じた指圧のリピーターになって貰う必要性ですが、先ずは誠心誠意の施術をする事と、患者の気持ちになり親身に考えてあげながら対応する事と思います。

今一つが技術面で、講師の言われた他との差別化、即ち「全身指圧＋αの技、知識等」の習得になると思います。これを得るには勉強です。先輩達はそれを一杯持っています。しかし、それらを教えて貰うには個人的に師匠を持つか、又は今回の講習会等を含めたコミュニケーションの取れる場において教えて貰う（伝授）以外に方法は少ないと思います。私は多用させて貰っています。

以上ですが、今回お2人の先生の講義をお聞きし、又、お話をして、両氏に施術して貰った患者は必ずやリピーターになりたいと思われるのが目に見えました。有難うございました。

同窓会指圧研修会に参加して

52期　滝澤知子

10月26、27日に箱根で開催された研修会に参加させていただきました。2日目は浮腫に対しての療法の研修がありました。

私が今働いている職場は、自立支援型のデイサービス施設です。自立支援を目的としているので、今ある体力、筋肉を維持し、本人自身が自立して生活を出来るように運動やマッサージ、リハビリ支援をしています。通所の方々の中には自分で出来ないことも多々ありますが、出来るなら少しでも自分の力で動きたいという気持ちを持ってもらえるように思っています。

そう考えた時に今必要なのは介護と共にリハビリの大切さでした。寝たきりにならないように指圧で身体の筋肉をほぐし、リハビリをする事でかなり効果があります。

通所の方の中で改善が難しいのがむくみです。関節がむくんでしまうと可動域が狭まって動かなくなってしまいます。浮腫の怖さを痛感し今回の講義に興味を持ちました。参加してみるとリンパドレナージュの手技で、むくみの改善をはかる方法でした。

今まで、リンパドレナージュとは聞いたことはあっても実際に見た事も体感したこともありませんでした。その手技は身体の表皮をいたわるように優しくリンパ節に向かってリンパを流してあげる、触っているのかと思うような軽いタッチ。実際に体感してみるとリンパが流れるのがわかるのです。ビックリしてしまいました。

施術者は、身体を使って体重を乗せない様にドレナージュを行うので、腰に負担が相当かかります。自分の身を削って行う療法だなと思いました。

しかし、むくみが激しく指圧出来ない方もいます。浮腫のひどい方には、痛みもなくむくみが少しでも取れるなら、リンパドレナージュをやって少しでも改善させてあげたいと思いました。

学校に通っていたころは、本当に学年一の落ちこぼれだったと自負しておりますが、先生方、クラスメイトのおかげで国家試験に合格でき本当に感謝しております。今では色々な方の指圧をさせていただき、そのたびに色々な手技を覚えたいと思っています。

これからも、同窓会指圧研修会は行ける限り出たいと思います。

色々な年代の卒業生の方々との交流も出来、たくさんのお話を聞かせて頂けて勉強になります。

本当に今回もありがとうございました。

箱根講習会　第２部　中盛先生講習風景

イタリア指圧セミナー

イタリア・ローマ

54期　臼井良美

ＡＰＩＳイタリア指圧プロ協会創立20周年を記念して２０１４年９月20・21日、医療機関 Villa Fulvia にて２日間のセミナーが開催されました。

日本指圧専門学校から浪越和民理事長をはじめ、小林秋朝先生、浪越雄二先生、石塚洋之先生、スペインから日西指圧学院長小野田茂先生（今回は体調不良により残念ながら欠席）、日本指圧協会から国際部長青木宏先生が招待されました。

協会から金子蘭子先生が参加されました。

参加者の多くが浪越指圧を勉強した人（ヨーロッパでは増永指圧も人気）、学生、インストラクターの資格を持ち学校で講師をしている先生などレベルもさまざま。イタリアのみならずスペイン、スイス、オランダ、ポルトガルから、総勢約１００人の参加者で会場が埋め尽くされました。

開会式タベルナ会長

各先生の持ち時間は約三時間。講義は浪越先生の『全身基本指圧』から始まり、小野田先生の『スマートフォン症候群に対する指圧』、石塚先生の『膝ダイナミックアライメントと関連筋への指圧アプローチ』、小林先生の『頭部指圧の重要性　それに関わる疾患　パーキンソン病、バセドウ病、てんかん等』と各疾患に対する治療テクニックをお披露目いただき、ハイレベルな内容になりました。

まず浪越先生の『基本指圧』では、参加者全員一通りの基本は身につけていますが各国で教えられている基本が日本と違いがあるのではないかという『確認』の質問が多く出ていました。たとえば伏臥位での肩甲上部一点目の位置、圧の方向、患者の姿勢などです。

石塚先生の講義は、スポーツ分野での指圧のアプローチという事で大変興味深く、若い先生という事もあり多くの参加者の注目を集めていました。スライドを使った説明は、言葉の問題を出来るだけ少ないようにと非常にわかり易くなっていました。

小林先生の講義は、中枢神経系疾患による難病に対する指圧テクニックということで三時間では足りず実技交換の時間を変更して三時間みっちり実演のみの講習になりました。

参加者全員が先生の体の動き、指の運び方など、全

「信」会長 Giampiero、臼井、石塚先生
リハビリセンターにおいて

ボランティア協会「信」の先生と記念写真　左端臼井先生、諸先生

体的な動きに注目出来ていた事、圧の強弱、圧の方向など細かい視点で観察していた事、真剣に取り組む姿がとても印象的でした。

最後会場内は感動と感謝の拍手で埋め尽くされ、とても有意義な二日間になりました。技術向上はもちろんの事ですが、全身基本指圧の重要性、医療分野、スポーツ分野でも指圧は有効であるという可能性を再確認できる機会を与えてくれた貴重なセミナーだったと思います。また日本の地を離れ海外で更に日本独自の手技指圧を普及していきたいと思う指圧師の一員としてとても良い刺激になり、これから指圧師が様々な分野で活躍できるように更なる技術と知識の向上が必要だと再認識させられました。

この場をお借りして今回お世話になりました諸先生に心より感謝申し上げます。

最後にNAMIKOSHI指圧ボランティア協会『信』が障害者に行っているボランティアに小林先生、石塚先生、青木先生、金子先生に特別に参加していただきました。

そこで小林先生の指圧を受けたパーキンソン病を患う女性の感謝のメールです。

金子蘭子先生　リハビリセンター

『心身の状態が改善され、効果の持続時間の長さは2年間ボランティア指圧を受けていますが初めての事です。先生の技術と知識の素晴らしさはもちろんですが、2時間全身全霊で施術して頂いたことそれが、これだけの治療効果を生み出した一番重要な事だと思います。体が軽く今にでも走り出したい気分です。』とても感動しました。プロの血が騒ぐというか、ありがたい言葉です。指圧は世界共通、Viva lo Shiatsu!!（指圧万歳‼）

青木宏先生　リハビリセンター

イタリア指圧協会創立20周年記念セミナー

45期　石塚洋之

私、石塚洋之は「膝ダイナミックアライメントと関連筋への指圧アプローチ」と題してセミナーを行って参りました。セミナーの内容を以下にご報告させていただきます。ダイナミックアライメントとは動的アライメントのことで、膝で言うと内反膝・外反膝などは立位での静的アライメントですが、これに対して動的アライメントとは動作中のアライメントをいいます。この動的アライメントの興味深いところは、例えば内反膝の者に片脚1歩前に出した踏込み動作（動的アライメントテスト）をさせると、膝が内側に入り、その膝に対してつま先は外側を向く（knee-in-toe-

リハビリセンター

実演　石塚洋之先生

out）が観察される事があります。つまり膝が外反するのです。静的アライメントでは内反膝の者が動作をさせてみると膝外反が起こるのです。これは動作を行う者の筋力や筋協調性によって異常な静的アライメントをどう補うか？という代償動作になります。つまり静的な評価のみで障害部位やウィークポイントを見つけるのでは、真の評価にはなっていないという事です。そのためセミナーでは膝動的アライメントテストを紹介し、その評価結果に応じて緊張筋を算出し、その筋に対する指圧方法をデモンストレーションいたしました。評価結果に応じた緊張筋は添付図1・2をご参照ください。

図１

関節名	過緊張筋	弱化筋
股関節	内転筋群・腸腰筋	中殿筋・梨状筋
膝関節	—	内側広筋
下腿	大腿二頭筋	—

図２

イタリア指圧協会・指圧学校創立20周年記念指圧セミナーに参加して

27期　浪越雄二

2014年9月20日・21日、イタリア指圧協会・指圧学校創立20周年記念祝賀会及び指圧セミナーに招待され日本指圧専門学校からは浪越和民理事長、小林秋朝先生、石塚洋之先生が参加いたしました。イタリアでは本校教員の多くが浪越指圧のセミナーを開催して参りました。また、イタリア指圧協会の代表を務めるロベルト・タベルナ先生と日本指圧専門学校は深い親交があり今回20周年記念指圧セミナーにご招待いただき参加することとなりました。ローマの指圧学校ではこの20年間で約1200人の生徒が卒業しているそうです。このセミナーの参加者はスペイン・スイス・オランダ・フランス・ポルトガル・イタリアなど総勢約100人でした。私のデモンストレーションは初日20日、全身基本指圧の横臥位・伏臥位・仰臥位等を行い、その後、各国の先生方に協力して頂き参加者全員で号令をかけながら基本指圧をいたしました。参加者の圧し方の姿勢の良さに驚きました。ヨーロッパの指圧事情はスペインで30年以上の歴史があります。浪越指圧の普及している小野田茂先生25期が代表を務めるNSE（浪越指圧ヨーロッパ）という組織があり、参加国はスペイン・イタリア・スイス・フランス・オランダなどで同じく浪越指圧の普及をしています。小野田茂先生はスペイン・マドリットで指圧治療院と指圧学校を開校しています。

また小野田先生の門下生がスペイン各地で指圧学校を開校しています。ここ10

実演　浪越雄二先生

基本指圧の復習　合同

開講式　左から 石塚、浪越、小林、青木、金子

数年ヨーロッパを見ていますがイタリア・スペインが特に指圧が盛んです。ヨーロッパにおとずれる度に感じる事ですが、日本より指圧に対する知名度が高いように思われます。これは長年にわたり小野田先生・ロベルト・タベルナ先生をはじめ各国の指圧協会の方々・本校教員の指圧普及の成果だと思います。また、これからもヨーロッパに限らず、改めてＳＨＩＡＴＳＵの普及の大切さを感じました。

頭部指圧の重要性 パーキンソン病

17期　小林秋朝

はじめに

私の演題は【頭部指圧の重要性　パーキンソン病】で行いました。

冠題に『頭部指圧の重要性』とあえて題したのは、パーキンソン病に欠かせない重要治療部位であると共に、頭痛、肩凝り、上肢痛、慢性疲労、耳鳴り、不眠症、むち打ち症、てんかん症状、婦人科系疾患、随伴症状の頭痛や不定愁訴を訴える患者。精神を病んでいると見受けられる、躁うつ性の患者さん等に頭部指圧を「入念」に施術すると、予想以上の好結果を生むことがしばしば見受けられるからです。

何れにあっても、諸疾患の治療での関連性、応用範囲が広いことにあらためて着目したいからです。

もう一つの理由は、私事で恐縮ですが91歳で永眠した、散歩や旅行が趣味であった私の父が、晩年パーキンソン病を患い（自宅介護・訪問入浴サービス）、少しでも病状を進ませまいと十数年、苦闘して得た治療経験のうち寒冷や天候が不順な時には、明らかに体調が落ち（症状が顕著）。全身と頭部指圧を入念に施術した時は、手・足、歩行に症状の差異、減少が多く診られました（病期：２度３度）。この時期健常者の様に劇的に好転する日が「数日」つづくとか、とても調子が良い日が「１～２週間」とか、指圧継続により症状の起伏が少ない良好の日が9年近くにもわたったので、小旅行を楽しんでいました。散歩は天候の悪い日、寒い日以外には欠かさず行っていました。これが自然と歩行訓練になっていました。

この経験から「頭部指圧の重要性」をお伝えしたいと思ったからです。

指圧法については、横臥位、伏臥位　仰臥位の３通り実演解説を行いました。（３時間）横臥位では、頭部指圧を入れた足底までの指圧法を紹介しました。

パーキンソン病とは

パーキンソン病は、50～60歳代で発症することが多く、体の運動機能が損なわれる中枢神経性の疾患です。脳が出す運動の指令が筋肉にうまく伝わらず、なめらかな動作ができなくなって（**筋固縮**）、手足が震えて（**振戦**）握力が弱くなり、動きが遅くなったり、体が動かなくなったりする（**無動**）。バランスがとりづらくなる（**姿勢反射障害**）などの症状が見られる進行性の疾患です。

これは、中脳の「黒質」

という部分の神経細胞が（変性）減ってしまうのが原因です。

この神経細胞は「Dopamine・ドーパミン」という神経伝達物質を作りドーパミンを使って体を動かす機能を調節する働きをしています。黒質の神経細胞が減ると、ドーパミンも減ってしまうために運動の情報が伝わらず様々な症状が出てきます。

厚生労働省の調査では、平成23年には、有病率１０００人に1人、患者数14万１０００人。難病（特定疾患）指定。

施術前に留意するところ

施術前後の転倒、骨折防止。

患者の病態「病期」の把握、天候によっても病態に差異が出現する。

頭部、頸部、肩甲間部、胸部、上肢、下肢、腹部、圧痛部が診られる

運動法、（他動運動、自動介助運動、自動運動、抵抗運動）で筋力増強を図る。

操作は、一動作ごと何をするかを説明し「声かけ」して患者と一体感でおこないます。動かしてほしいところを、手でタッチして教えます。筋肉を動かす意識の向上、覚醒にも大変効果があります。その際、患者が疲労しすぎない様に配慮が必要です。ストレッチは筋肉をゆっくり伸ばす感じで行い、筋肉のこわばりをゆるめる。

関節の拘縮を予防するための関節可動域運動を行う。

病期診断として、5段階の（ホーエン・ヤール）病期分類

（パーキンソン病の重症度と治療の成果などを見るための指標）

1度　片方の手足のみに症状が現れている。

2度　両方の手足に症状が現れている。

3度　両方の手足に症状が現れ、前屈み姿勢、すり足歩行等などが現れている。

4度　両方の手足に強い症状が現れている。

5度　ほとんど寝たきりで、移動は車椅子が絶対必要。

【横臥位】（頭部～足底）

頭部

側頭部（耳周り）：頭頂部（枕使用、左側圧せる範囲）：後頭部（圧せる範囲）

①触診は指腹・指頭・左右指腹で角度をつけて、なでるように指を滑らせて、凹んだところを探し出します。

②凹んだところに柔らかなブヨブヨする感覚を感じたら少し強く圧してみる。圧痛の有無、強弱を確認。強く痛みを感じたところを「重要治療点」とします。

③治療点は1か所、2・3個所、片側だけに現れる場合もあります。

④本症では圧痛部の範囲は頭頂部周辺～後頭部、治療点、持続圧。

⑤側頭部、耳周りは両膝立てが圧しやすいです

⑥頭頂部

1線：1点目は基本指圧の正中線、髪の生え際から3点目支点、にし外側3点目を起点として、左母指は後頭部・右母指は前額部方向に左右3点にとる。以下2線・3線を同じように数回繰り返す。

2線：1線から正中線方向に親指幅下がる。

3線：正中線上。

頸部

前頸部

前側頸部：側頸部の前側に沿って

側頸部

後側頸部：側頸部と後頸部の中間線

項窩・延髄部

後頸部

上項部：乳様突起～後頸部各1点目

頸椎棘間部（延髄部直下～C７）3指圧（示指、中指、薬指）

体幹

肩甲上部

肩甲上部～僧帽筋稜線上沿うように肩鎖関節

肩甲間部（全て）

肩甲骨周囲部

肩甲骨棘下部

①肩甲棘：肩峰角下縁1点～下縁内側4点

②1点～4点起点に下角方向へ各4点

胸椎棘間部（Ｔ1～Ｔ7）3指圧

肩甲下部（基本線、脊柱起立筋外縁線・2線）

胸椎棘間部・腰椎棘間部（Ｔ8～Ｌ5）3指圧

背部（掌圧・なでおろし）

＊胸部、腹部は仰臥位があるので省略

腸骨稜上部

仙骨部（正中仙骨稜より左側）

殿部

・殿部前面（腹側）から圧す場合は両膝立て

浪越圧点

右下肢

大腿内側部（掌圧）

大腿後側部

膝窩部

下腿後側部

下腿後側部・大つかみ（以下正座）

踵骨隆起部
踵骨両側部：内果
足底部（左膝立て）

左下肢

大腿前側部（術者位置変えて前面に対して正座：体型により膝クッション当てる）
股関節周囲部（片膝立て）
大腿外側部（両手母指圧・掌圧、両膝立て）
膝蓋骨周囲部（手掌圧・母指と四指圧、圧せる範囲・以下正座）
下腿外側・前脛骨筋上・基本線と腓骨に沿う線・2線
足関節部
踵骨両側部：外果
足背部
足趾部
足趾関節運動
操作は膝上で左手は足首を保持、膝にクッションを当てると安定する。
＊半円クッションも利便性あります
足関節運動
①左手で足首を保持し右手で足背、足底を交互に、底屈、背屈、内反、外反
②足趾
足趾を包むように握り、内回し、外回し、屈曲、伸展、各足趾を伸展しながらの振動圧法
※①②自動介助運動、自動運動、抵抗運動など入れる
足底伸展
関節可動域・運動法
股関節・膝関節屈曲、伸展
①前面に位置し正座、受け手の股関節90°屈曲、膝関節90°屈曲した膝を左手掌で持ち、同側股関節の高さに保持、右手は足首をつかむ、膝を胸に近づけることを告げ「声かけ」して胸の高さに上げ、次に下方に引く下肢の伸展。（自動介助運動）
②筋力がかなり有れば、自力で行わせ、膝を上げる動作のなかで抵抗を加える。
伸ばす動作のなかで抵抗を加える（抵抗運動）。筋力に合った運動法を行う。
股関節伸展
①殿部後、受け手の足の方向にむいて、正座つま先立ち。患者の左膝を左手で保持し後方背側に引く、同時に右手は股関節に当て背側に動じないよう支持する。

上肢

腋窩部
術者は頭上に位置し左膝を立てた大腿上に患者の上肢をおき、手が前方に落ちない様に体幹で受ける（止める）
腋窩部（両手母指）
上腕内側部（両手母指）
上腕外側部（両手母指、以下背部に位置し右膝立て）
上腕部（大つかみ）
前腕内側部（殿部上に手背・肩関節内旋）
前腕外側部
手背部
手指部
手掌部（殿部上に手背）
肩の関節可動域
肩の上・下、内転・外転
肩を前面、後面から包み込むように左右手掌で挟み、前面の左手は患者の肘屈曲位上腕を脇の下から入れた術者の上腕で支える。
①肩甲帯の挙上・下制（肩を上に上げる・下に下げる）。
②挙上・下制の動きに肩甲骨の内転・外転を加える。
③右手は肩甲骨上に移し、挙上・下制の動きに肩甲骨を引き寄せる内転運動、引き出し外転運動を意識して交互に行う。
肩甲骨のけん引
左手で肩を支え、右手四指を揃え肩甲骨の内側縁に指先をかけ数点けん引。
受け手の左手は背側腰部に手背がくるようにするととりやすい。
上肢伸展・腕のぶんまわし・振動圧法。
頭上に位置し左膝立て、左手は肩上を支持して、受けての左手首を右手で握り頭方から肘が背側方向に体幹から離れるように押し下げて（肩甲骨下方回旋、内転）から、手首を腹側の方にリードして前方挙上を繰り返して伸展。（肩甲骨外転、上方回旋）（リズミカルに10回、平泳ぎで水をかく時、肘を背中の方に限界まで引くイメージ。）
※パーキンソン病は、筋固縮、筋力低下、前屈、前傾姿勢とともに上肢帯に重力の負担がかかり、肩背部は全体に硬く、肩甲骨の動きが制限されている。
肩甲骨を動かすことによって肩甲骨周りの筋肉をほぐし上肢帯の可動域を広める。
肩～手指関節可動域
①患者の左手を右手で握手するように握り、背部に向かって立つ（肩関節90°外転）、上肢を持ち上げ、腕のぶん回し運動。右回し左回し。（肩関節可動域）
②次に右手で（示指、中指）を、左手で（薬指、小指）を深く握り、上肢をゆるめない程度に持ち上げ、手関節と中手指節関節（ＭＰ関節）を左右に（外転　内転）・前後（屈曲　伸展）運動。（ブラブラ運動）

③次に握っている指を意識して近位指節間関節（ＰＩＰ関節）が動く浅目に握り変えて、左右に運動、前後に運動。

（①②③運動回数、各10回、手指の関節から肩関節まで一連の動的ストレッチ）

④指は握ったまま、上肢をより引き上げて振動圧法。手を殿部におく（左側終了）。以上の順序の流れでパーキンソン病、横臥位の紹介を終わりました。

口述要約

頭部：記載あり省略

頸部では各1点目、上項部に圧痛点が多く診られ、項嚢延髄部は眉間の方向以外、左上方、右上方と左右の目尻の方向に持続圧を数回繰り返す。

頸椎棘間部は3指圧、中指を利かして垂直圧、上下、左右にと指腹の方向を変えて圧し、違和感、圧し痛みを訴える場合は持続圧。

前側頸部、側頸部は鋭い痛みを感じるポイントがあるので圧加減をより慎重にとります。

肩甲上部から肩鎖関節に向かうラインは範囲を少し広めに肩甲挙筋、棘上筋を意識して圧痛部位、硬結を少しずつゆっくりと解いていき、急がないところです。ゆるむ手応えを感じるまで。

肩甲間部は全体が硬く圧痛部が思いのほかあるところなので、快圧で強い硬結には流れ圧しもします。

肩甲骨外縁は患者の肩を左手で背側に引き寄せ支え、右片手母指圧でとるようにしています。圧痛部が潜んでいます。

肩甲下部は基本線と脊柱起立筋外縁線の2線にとる。

腰部：肩甲線加えて3線

殿部は大、小の硬結と圧痛が診られ、快圧で碁盤の目のように隙間なく圧す。

梨状筋部のビリビリと反応の強いところは、持続圧を用いながら圧方向を仙骨方向、大転子方向にとゆっくり交互に数回移動。圧痛の減少を感じたら手根部で深めに持続掌圧。

右下肢（床側）

大腿内側は収縮する内転筋群を掌圧での繰り返し、大腿骨の内側上顆を手掌で包み母指球圧。

膝窩部：大腿二頭筋腱内縁～半腱様筋腱内縁まで浮腫を除くように丁寧な指圧。

大腿後側部：収縮したハムストリングを快圧で筋緊張の緩和。根気よく母指圧を繰り返す。圧痛部あり。

下腿後側部は1点目を持続圧数回、中央部も数回持続圧入れてから、柔らかい通常圧・緩圧法で全体の筋緊張を和らげる。下肢の体液循環促進と浮腫の軽減を目指す。

足関節～足趾：きめ細かい指圧と関節運動。

左下肢（前面に対して）

殿部：背側で施術した場合省略。

大腿前側：外側広筋は四指、大腿直筋、内側広筋は両手母指と使い分け3線にとる。

膝蓋骨上より2～3横指上・内側・中央・外側圧痛部、ほか圧痛部多い、大腿四頭筋の緊張緩和の施術。

（以下は指圧法ですでに説明済み）

むすび

会場の先生方の相互指圧が出来なかったのが残念でしたが、指圧歴数十年のベテラン Chiapperi 先生がパーキンソン病患者の訪問治療を継続的にされていることをお聞きしました。

講演を見てご自身の治療法、『大きな筋から手足の末梢をきめ細かく指圧して関節周りの筋の硬縮をとる。今まで通りの全身指圧をすることが重要であることに意を強くした。』と仰っていました。

【全身指圧をすることが重要である】まさに同感です。

講演を終えて

VOJTAリハビリセンター訪問記
SHIN「信」Namikoshi Shiatsu ボランティアの活躍

17期　小林秋朝

SHIN「信」Namikoshi Shiatsu 会長 Giampiero 先生の団体が、ローマ市内の VOJTA リハビリセンター（州立・協同組合）で数年前から指圧のボランティアをされています。最初はボランティアを申し出たところ断られたそうです。

そこで指圧の手技と効果を肌で知っていただく

パーキンソン病　頭頂部外側から左右に指圧

す。

私のパーキンソン病実演の時３人のモデルの一人であった、Giampiero会長のご紹介で、パーキンソン病患者、Giuliana さん（66歳、病期３度）を治療しました。

治療後『屈曲していた手指が自力で伸ばせたこと、体の軽さと足も楽になり走りたい気分』とのお礼の言葉を戴きました。

午前中は皆さんと一緒に治療して、昼食、休憩後は、センター内の水治浴、温水浴などの施設見学。施設所長のドクターが、中枢性神経の幼児疾患に見立てて、赤ちゃんの人形をモデルに診察法、治療法を解説してくださり、次に裸の石塚洋之先生をモデルに実演をしてくださった。

治療法は、母指の１点持続圧で数か所のみでおこない、胸部では１点のみ、10分以上も持続圧する独特の手技でした。そのうえ興味を引いたことは、パーキンソン病の実演の時解説した、「胸部にしばしば圧痛部が出現する治療点。」と、その個所が同じデルマトームの範囲であったことでした。

感銘を覚えた事は、医師・理学療法士の先生方に信頼されて『毎週指圧ボランティアが継続』されている事実です。

「信」の先生方が患者さんに接する、慈しみ深い愛情が伝わる姿に心から敬服しています。永く続きますようにと強く念じて皆さんとお別れしました。

最後に私たちに通訳と雑用にとご活躍と気配りをしてくださいました、臼井良美先生に心からお礼を申し上げます。くれぐれも健康に留意されて、ローマでのますますのご活躍をお祈り申し上げています。

Giuliana さん治療を終えて

ヴァチカン市国　サン・ピエトロ大聖堂　ヴァチカン美術館屋上

開講式

今日より明日へ

同窓生からの便り

乱立するお店の中で

46期　三津　剛

こんにちは、46期卒業の三津剛と申します。

この度はこのように機会をいただきありがとうございます。

私は板橋区の成増に「いやしの指みつ」を独立開業しまして、今年で10年になります。

整骨院という名の柔整による違法なマッサージ行為やいま無資格のものを使い低価格で質の悪い「ほぐし」などという名目で所謂無資格によるマッサージ行為が横行しております。

これにより、施術による事故の例が後を絶ちません。

当然知識のない者が1～2週間の研修だけで施術を行うのですからそうなるのは容易に想像できるでしょう。これでは、あんまマッサージ指圧師として患者様の健康被害の拡大やあんまマッサージ指圧師という資格に対する不名誉になるのではないかと考えます。

こうしたお店が世の中に乱立してきている中で、我々国家資格取得者に何ができるか？

今一度考え行動することが必要になってきていると思います。国家資格を取得したから安心、そういう世の中ではないのです。

そのために日々学び、新しい知識をつけ、取り入れ、自分のこれが得意というものを見つけてアピールする必要があります。首の辛いときはここへ行けば楽になれる。腰がつらいときはここに行けば楽になれるなど、これは自信があり誰にも負けないと思えるものを持つ必要があるのです。

他にも、お店の雰囲気づくり、このお店のこういう雰囲気が好きで来るなどしっかりとここに来ればこういうものがある、得られるとはっきりしていることが必要な要素だと思います。これから独立を考えている方、いまお店を出している方、国家資格を持った我々にしか出来ないこと、安心、安全、信頼のもとに、今一度こういうことも必要であるのだと感じ考えていってください。

指圧ライフ

54期　宮崎　真由美

二十代後半になりこの先の人生をどうしたものかと漠然と考えた時期がありました。大袈裟かもしれませんが仕事・結婚・子育てとどれもが私にとっては優先順位をつけられませんでした。ただ、のちに働くためには今しかないと思い、手に職をつけることを決意し入学しました。

在学中、勉強が苦手だった私は授業内容を理解することにとても苦労しました。戦友ともいえる素敵なクラスメイトに出会いたくさん助けてもらいました。資格取得後の自分自身を明確にしてイメージを強く持ち続けたことが支えとなり資格を取得できました。

それからは、身体のメカニズムや患者様の生活などを考えトータルケアを目指して施術に専念しました。似たようなものはあっても全く同じ症状はないため一人一人をしっかり診て向き合っていくように心がけました。

この指圧への道へきたのはいろいろなきっかけがありますが、元をたどれば祖父の影響があると思います。身体に触れることは私が子どもの頃から身近にあるものでした。のちに家族の身体を守りたい、周りの人のつらさを和らげたい、そのような感覚をもっていました。身体に触れることで身体も心もホッと一息つけ前向きな気持ちになることを他の方にも知ってほしいと思いました。

昨年、私は結婚し年末に男の子が産まれました。さらにここで女性の身体の変化に対する興味が湧きました。妊娠中、出産、産後を通して身体や心の変化がおきました。このことに関しても人により様々な症状が出ます。私自身、思いもよらない症状が続きましたがとても勉強になりました。かけがえのない貴重で大切な経験であると感じています。おかげで今は息子に向き合い身体に触れるなどのスキンシップを大切にしながらとても幸せな毎日を過ごしています。

三か月で初めてのお花見

たくさんの患者様に出会えることなど全てに関してですが、経験は宝であると思います。「スローライフ」これは在学中に気づいたことであり、これから先、指圧をベースとして最終的にこのような過ごし方をしたいという私の理想像です。経験を生かし、この理想とする「スローライフ」を目指さして日々を充実させていきたいです。

皆さんも納得する素敵な指圧ライフを送れますように。

第五十六期　卒業式

日本指圧専門学校第56期卒業式が3月7日（土）リーガロイヤルホテル東京にて午前10時から執り行われた。

黒沢純一課長の司会で、君が代斉唱の後、卒業証書の授与が始まる。昼間部石塚洋之先生・黒田美稚子先生、夜間部藤田一彦先生・金子泰隆先生各担任の呼名により１００名の卒業生が一人一人壇上に上り、石塚寛校長より卒業証書と専門士の称号が授与された。

続いて東洋療法学校協会賞がB組の磯﨑知枝さんに手渡され会場は拍手喝采に包まれた。賞状授与は続き、3年間皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。さらに功労賞（学級委員）、優等賞の表彰、さらに指圧研究会や指圧修練会、オイルマッサージ部、指圧連、など部活動に活躍した学生が表彰を受けた。

同窓会会長賞は、A組中村泰子さん、D組関根由記子さんが受賞し、川原善次郎会長より記念品が手渡された。

石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の祝辞に続き、ご来賓の煙山力理事・日本指圧協会山岡祥宏会長・川原善次郎同窓会会長より温かい祝辞を頂戴しました。

次に祝電披露、在校生代表小笠原ひろみさんによる送辞、卒業生代表星野喬一さんによる答辞が述べられ、各々が心の中で3年間の思い出を巡らせているようでした。

校歌「指圧讃歌」を合唱し、卒業式を終了した。

12時30分より同ホテル内で卒業記念パーティーが開催された。56期生徒会会長星野喬一さんの挨拶、石塚校長の乾杯の音頭で祝宴に入る。3年間ともに切磋琢磨して生活を共にしてきた仲間との別れを惜しむ楽しい時間はあっという間に過ぎ、散会。その顔はみな晴れ晴れとしたものであった。大空へ羽ばたけ！56期生！

卒業生第56期代表からのひと言メッセージ

長いようで短かった三年間

A組　田中　一世

私は入学前はIT関係の仕事をしていて、特に不自由なく過ごしていましたが、自分の技術を使い、人との触れあいを通して誰かの役に立ちたいという思いが強くなり、この世界に足を踏み入れる決断をしました。

30歳間近で仕事を辞め、中学校・高校と同じ『３年間』という長い期間、学生生活を送ることはとても不安でしたが、優しいクラスメート達やアットホームな雰囲気の先生方のおかげで、楽しく有意義に学生生活を送る事が出来ました。

途中、色々迷いが生まれ将来への不安を抱く事もありましたが、二年、三年と様々な知識や技術を身に付けていくうちにその思いも消え、治療家として働く自覚や自信がついてきました。そして苦しい時は、共に目標に向かって進むクラスメートの存在が大きな励みとなりました。

入学前は資格取得と知識・技術の向上の事しか頭にありませんでしたが、それ以上にこの学生生活ではたくさん得るものがありました。自分の人生にこの三年間が無かったと思うと…。

卒業する事はとても寂しいですが、治療家として新しいスタートを切れる事を喜びと感じ、切り替えていきたいと思います。そして頼られる治療家として人々の人生の手助けが出来るように、日々精進します。三年間関わっていただいた皆様、ありがとうございました。

三年間を振り返って

うん十年ぶりの学生生活は、かつてののほほんとしたイメージとは打って変わり、刺激的、ときに衝撃的なトピックの連続でした。まず、勉強量の多さ！　記憶力の低下も相まって、試験の度に悶絶しました。また、個々の多様な価値観の中には、なかなか理解し難い道徳観や倫理観も入り混じり、落胆や憤りを感じる場面もありました。

そうした中で頑張れたのは、卒業後の目標がぶれなかったからだと思っています。在校生のみなさんにもお勧めします。暫定的でも構わないので、目標を持った上で今現在の経験を活かす方法を考えてみてください。軽視しがちな基礎分野の科目などにも意義を見出せると思います（実際、それぞれの専門領域から、国試や現場において有用な内容を的確にピックアップしてくださっています）。

最後になりましたが、親身に向き合ってくださった先生方、お世話になりました。たわい無い話の陰でさりげなく手を差し伸べてくれた友達、どうもありがとう。心より感謝します。

「できた！なった！」の３年間

B組　星野　喬一

歩いて転んで「びぇ～ん」と泣いていた娘が３年も経つと自転車に乗れるようになり、転んでも泣かずにおきあがり、またペダルをこぎはじめるようになった。娘の成長と同様、私自身も「できた！なった！」の３年間でした。

「あなたを待っている患者さんがいる。」１年生の時に尊敬する恩師より頂いた言葉だ。それから勉強が苦しくなくなった。むしろ楽しくなった。勿論、今もわからない事が多々あるが、その事を議論し深めあえる仲間ができた。より一層勉強が楽しくなった。勉強した事を実技で活かせるようになり、実技の理解が深まった。指圧の効果を証明したくて、仲間と一緒に論文作成し、発表させてもらうこともできた。「できた！なった！」の３年間。

でも、「できた！なった！」の裏では、たくさんの「できなかった」で落ち込む事もありました。そんな時、仲間の支えや先生方の叱咤激励が本当にありがたかった。だから困難も乗り越え「できた！なった！」の喜びを分かちあう事ができました。私はこの３年間で、社会にでてからも日々勉強、修練に励み、「できた！なった！」の喜びを、患者さんと共感しあえる人間でいたいと改めて強く思える「按摩マッサージ指圧師」になりました。最後に、仲間、教職員の方々、そして家族、本当にありがとうございました。

充実した３年間に「できた！なった！」

「３年間」

B組　高橋　香織

この学校に入学する前は、なんとなくお堅いイメージで厳しい学校だと思っていたのですが、いざ入学するとアットホームな雰囲気の学校だなぁと思いました。私が髪色を真ん中で分け、左は真っ黒、右は金。そんな髪型にしても怒られることもなく、むしろほめて下さる先生もちらほら。そんな優しい先生方がいる学校の生徒はやっぱり優しくて、試験前はお互いに教えあったり、調べたりして、みんなで助け合いました。そんな光景が私は好きでした。ふり返ると、やっぱりこの学校を選んでよかったです。沢山勉強して、沢山緊張して、一緒に悩んでくれる先生方、そしてキャラの濃いクラスのみんな。気持ち的にも体力的にもきつい時期もあったけど、一緒に入学したみんながいたから頑張れました。この３年間頑張れた事を糧に、これからは沢山勉強したこの手で、患者さんを癒していけるよう日々努めます。濃密な３年間を本当にありがとうございました。

p14-21cs6.indd 17　2015/04/20 17:54:19

三年間を振り返って

C組　大平　和雄

この学校に入学して良かったのか？　三年前の春、そう考えていました。

私は、指圧に特別強い想いを持っていた訳ではありません。興味はありましたし、学んでみたいと思っていましたが、それを一生の仕事にとは思っていませんでした。

動機も目標もあやふやなまま始まった学校生活は、難解な座学、慣れない実技、一から築く人間関係、そして試験と、息つく暇もない試練の連続でした。

しかし、忙しく厳しい毎日は、指圧への想いを変え、指圧師として必要な知識と技術、何より自覚と今後の目標を与えてくれました。

学校での勉強は、これで終わりとなりますが、指圧の修得に終わりはないと思います。気を引き締め、目標の実現に向け頑張って行きたいと思っています。

最後に、この三年間に関わり、支えて頂いた全ての方々に感謝致します。今の自分があるのは皆様のおかげです。ありがとうございました。

私は、この日本指圧専門学校に入学し、本当に良かったと思っています。

充実した3年間

C組　堀井　智絵

初めて学校を訪れたのは、入学前の授業見学でした。その時の黒沢課長と中先生、先輩方の和やかなクラスの雰囲気に魅かれ、入学を決意した私の選択は間違っていなかった‼（笑）と卒業を前に改めて感じています。

私のクラスC組は〝まるで動物園だ〟（と言われた⁉）という1年生の頃から話題がつきないクラス（笑）でしたが、クラスメートと多くの時間を共有し、同じ目標に向かって進んでいくことでお互いの信頼も深まっていったように思います。仕事との両立がしんどい時もありましたが、実技での指圧や、みんなとの他愛もない話でエネルギーをもらい、充実した楽しい学校生活を送ることができました。（みんなありがとう♡）

3年間を振り返り一番に思うことは、たくさんの方々に支えられて今この場所に立っていられるということです。校長先生をはじめ、熱意あるご指導をしてくださった先生方、C組のみんな、残業を考慮してくださった職場の方々、友人、家族、関わって頂いたすべての方に心から感謝をいたします。3年間どうもありがとうございました。

三年間を振り返って

D組　笠井　謙次

職を転々として来ました。四十歳を機に「何か専門性のある技術、知識を身に付けたい」と思い、この学校に入ることを決めました。

一年目。とにかく座学が大変でしたね。特に村上先生の解剖学は難しかったです。実技は手順、圧点の位置、点数、と覚える事が多くて、記憶力の良い若者が羨ましかったものです。課外活動としては阿波踊り「指圧連」と浪越スポーツ指圧トレーナー部に入りました。踊りは気分転換になりましたし、トレーナー部は現在休部中（？）ですが、得難い教えを受けることが出来ました。

二年目。少しは楽できるかな、と思いました（先輩からそう聞いたような？）。が、そうは行きませんね。相変わらず座学も実技も難しいものでした。そんな中でも、学祭や、高円寺阿波踊り、ボランティア指圧など、イベントを楽しめるようになりました。ようやくクラスの人たちと馴染んで来たかなという感じでした。

三年目。焦り始めました（笑）。残り時間もわずか、少しでも実技が上手くなりたいと思い、「修練会に休まず出る！」と決め、夏休みには学校外で実技練習会を開くなど、多少積極的になれました。

この三年間を振り返ると、楽しくも有り苦しくも有り、充実していたなあと思います。

最後に、こんな私と三年間一緒に過ごしてくれたクラスの皆さん、先輩、後輩の皆さん、先生方、本当に有難う御座いました。迷惑も掛けたかも知れませんが、なるべく早く忘れて下さいね。

貴重な体験

D組　平田　玲子

人の体を触る知識と技術を身に付けたいと思い入学したのが3年前、職場を定時に脱出できるかドキドキ、定期テストでも、授業中に指名されてもドキドキ。ドキドキ刺激的な日々。勉強も結構頑張った。電車でコツコツ、昼休みにコツコツ、コツコツ勉強の積み重ねが結構楽しかった。難しい漢字も書けるようになった。時には力尽き、寝顔を披露した事も有ったけど。年齢・職業・経験値も違うD組の仲間と同じ目標に向かって毎日顔を合わせて、おしゃべりをして、おやつを食べて、将来の事について真剣に話し合う事が出来たのは有意義な時間だった。楽しくて、ドキドキして、コツコツやった、あっという間の3年間で、知識・技術・仲間の3つの財産を得ることが出来た。国家試験は通過点。卒業後は現場レベルの知識・技術の向上と学費の回収を目標に頑張って行きたいと思っています。自分の過去は消せないけれど、未来は変えられる。これからが正念場です。頑張ります。

お世話になった先生方、支えてくれた家族、友人、D組の皆さん、本当にお世話になりました。おかげ様で、ここまで頑張ってくることが出来ました。本当にありがとうございました。

同窓会会長賞を受賞して

A組　中村　泰子

平成27年３月７日、第56期卒業式にて、川原会長より名誉ある〝同窓会会長賞〟を戴き誠にありがとうございました。

受賞の話を聞いた時は、驚きで胸がいっぱいになりましたが、それと同時に大変嬉しく思いました。この受賞に恥じることのないよう精一杯、社会に貢献していこうと思います。

私は介護福祉士として介護現場で、長年勤めておりました。しかし、痛みに対しては何もアプローチできず、あん摩マッサージ指圧師になる決意をしました。

入学当初は、勉強の難しさを痛感し悪戦苦闘していましたが、先生方やクラスメイトに恵まれ、乗り切ることができました。また３年間同じクラスであった為、悩みや相談もしやすく交流が深まり、楽しい学生生活を送ることができました。卒業後もこの出会いを大切にし、近況報告をしあってレベルの向上に努めていきたいと思います。

社会経験後の入学であった為、楽しみたいとの思いから、課外活動にも積極的に参加しました。

主に修練会・ボランティア指圧・部活動ですが、このうち部活動について述べたいと思います。

私は指圧連に所属しています。入学前の学校見学で、学園祭を見物し、阿波踊りに魅了された事を今でも鮮明に覚えています。鳴り物の音に合わせて踊る姿は楽しそうで、何より生き生きとして踊られている校長先生が印象的でした。足腰を鍛えるには良いと思い、二年次より入部し現在に至ります。

入部した事で指圧の姿勢も安定し、良い圧が入るようになりました。また先生方を始め、在校生・ＯＢとの一致団結ができ、交流が深まります。

主な活動としては、学園祭ですが、高円寺（２年連続）・イチョウ祭り等で幅広く活動しています。

勉強も難しくて大変ではありますが、体力がないと適度な圧で押せないので、体力づくりも大事だと実感しました。

最後になりますが、卒業後は訪問マッサージに就職させていただいたので、介護経験を生かしつつ、多くの方に信頼してもらえる治療家を目指し、日々精進していきたいです。また痛みの緩和だけではなく、精神面のケアもアプローチしていきたいです。

今後は同窓会を通して諸先生方、諸先輩、後輩の方々、同窓生の方と交流を深めていきたいと思います。

これからも宜しくお願い致します。

D組　関根由記子

人生120歳とすると、私の人生もその半分まで来ていました。最後のチャレンジと思い、以前より興味を持っていた東洋医学療法が学べる浪越学園の門を叩きました。入学者の年齢は、高校卒業後すぐの方から私より年上の方まで様々と伺い、嬉しくなったのを思い出します。

前職の時、高齢の方と電話で接する機会が多く、退職後は介護関連の仕事をしようと決めていましたので、退職後介護ヘルパーの資格を取得し、午前中の仕事を始めると同時に浪越学園夜間部に通う生活が始まりました。いざ勉強が始まってみると、困ったことに講義が頭の中を素通りする。勉強の仕方が分からない。初めての定期試験では、心臓がドキドキ、頭の中は真白という状態で、入学は間違いだった、と後悔もしました。しかし、乗ってしまった船を途中で降りたら、もっと後悔する。卒業という港に着くまでは、国家試験を受けるまでは、と自分を戒め、繰り返し復習し、追試でリベンジ、といった事の繰り返しで何とか３年生になる事が出来ました。３年生の勉強は、今までの集大成、と先生方が言っておられた通りでした。今からでも遅くは無い、と復習を重ね、追試付きでしたけれど、卒業内定まで何とか漕ぎ着き安堵した事を思い出します。

しかし、アクシデントはどこで起こるか分からない。夏休み直前に母が入院、毎日実家と病院通い、退院し落ち着いたと思ったら、国家試験まで後一か月という時に、再入院、父も入院と両親の入退院でヘルパーの仕事、病院と実家、学校の行き来と、勉強時間が取れず焦りました。そんな時だからこそ、健康に気を配り、出られる補習は出席し、少しずつでも過去問題を解く、を課題に、直前の一週間は何度も間違える問題を繰り返し解き、先輩方も同じような道程を経て資格を取得したのだろう、と思いながら、国家試験の日を迎えました。

初心は忘れがちです。３年間、背中を押し続けてくださった先生方の「最後まであきらめない」の言葉が今さらながら身に沁みます。年上の同級生や同世代の同窓生、もちろんクラスの皆さんも共に、同じ目的に向かって頑張る姿は、心強く励みになりました。この３年間は、今までの人生で一番勉強をしたように思います。それだけ学園生活が充実していたという事です。夏休みには、同窓会研修会に参加し、多くの先輩方に混じり、現場のお話を伺う事ができました。卒業後も、この様な会で勉強する機会がある事を知り、縦の繋がりの良い学園だな、私も出来るだけ参加しよう、と思いました。

最後に、気力を持てば年齢に捉われず、「初志貫徹」できる、という自信を持たせてくださった、浪越学園に感謝とお礼を申し上げ、後輩の皆様へ応援エールを送りたいと思います。

新入生の（59期）誓い

A組　沖田　悠希

私は日本指圧専門学校に入学させて頂いた事にとても喜びを感じております。それは、自分が目指す理想に向けて必要な知識、技術を学び、深める事が出来るきっかけを頂けたからです。

私は一年間、広島で整体師をしていました。お店に来られる方は、疲れをとりに来られる方が多かったのですが、痛みに悩まれる方もいました。そんな痛みに悩まれる方ともしっかりと向き合い、相手の期待に応えられるようになりたいと考え始めたのがきっかけで、もっと知識と技術を身につけたいと思ったのです。そして、指圧を通して相手の笑顔を引き出す事が出来るような指圧師になりたいと思いました。

その為にも、頂けたきっかけを今後に生かせるように、ただ学業をこなすのではなく、自分から探求し、身につける学びをするという意識をもって三年間勉学に励んでいきたいです。

B組　田口　文隆

私は高校生になってから、進路のことについて常に悩んでいました。去年の一月、自分にできることを仕事に生かせないかと考えていた時、母から日本指圧専門学校と指圧師の存在を知りました。日頃から家族の肩ほぐしをしていた私にとって、このことは進路への迷いを打ち消し、努力の末に入学を果たすことができました。

私は中学生の頃、多くの先生方に支えられて悪い状況から立ち直った経験があります。この時、人に与える優しさや温かさを知り、いつか自分もそれらを与えられる人になりたいと思うようになりました。中学生の頃の経験があるからこそ、今の私があります。

指圧を学ぶということは、人間の体や心について知ることが必要です。それは楽しみでもあり、大変でもあります。しかし、この学校には同じ志を持つ人が多くいるので、共に学び、交流していきたいと思います。

C組　金箱眞津子

〝自分の身ひとつで、どこでも人を治療出来る仕事＝指圧師〟に興味を持ち、学びたいと思いながら長い間なかなか実行に移せず、半ば諦めかけていました。でも、昨年卒業生である友人やその知り合いの卒業生の方々と関わっていくうちに、「やっぱり、学びたい」と一念発起。この春、日本指圧専門学校に入学させていただける事に大変嬉しく思っております。

私の入学が決まり、友人をはじめ卒業生の方々から様々な形で応援をいただきました。卒業生同士のつながりに感動し、入学出来る事にあらためて喜びを感じています。そして、頑張らねばと思いました。

何十年振りの学生生活は、錆びついた頭や体力との闘い、仕事との両立：厳しい毎日になるでしょう。時にはくじけそうになるかもしれません。しかし、学ぶ機会をいただいた大切な三年間、挫折しそうになった時は卒業生の方々や先輩方、先生やクラスの仲間とコミュニケーションをとり乗り越え、充実した三年間にしたいと願っています。そして、自分が目指す指圧師に近づける様、私らしく一歩一歩着実に歩んでいきたいと思います。

D組　杉山　佳延

私は治療家を目指していますが、癒し屋と呼ばれるのも悪くないと思います。

転職の際、職業カウンセラーに冷たい扱いをされました。そんな時、マッサージを受けながら話をしていると、身も心も癒され、余程カウンセラーらしい役割をしてくれていると感じました。自分を見つめ直しつつも、とても前向きになれたのです。

さて、私は既に鍼灸師として働いていますが、患者さんに生活習慣の改善を指導するのは難しいものだと感じています。結局、自分の体を治すのは自分自身ですから。しかし、患者さんは少なくとも気持ち良く癒されていれば、話だけは快く聞いてくれると思うのです。癒しの入口はやはり按摩マッサージ指圧以外にありません。

私はこの学校で患者さんの心身に働きかけることをテーマに、東西医学を学び、実技、座学ともに、卒業しても学ぶことを継続する覚悟で臨みたいと思います。

ハワイ研修

ハワイ解剖実習に参加して

57期　小泉浩記

普段私たちが学習している解剖学は、言ってみれば地図から地形や地名を覚えるようなものだと思います。その地の人びとや環境、食べ物など、仮に知っていたとしても実際に赴いてみるまではあくまで知識であり、体験ではありません。そんな解剖学における知識から体験への橋渡しとなる絶好の機会として、本年３月12日から８日間のハワイ解剖実習に参加しました。

今回は従来に比べて解剖実習の日数が２日間から３日間へ、また終日自由行動の日も２日間あり、学びも遊びも共にボリューム感の増した旅でした。特に解剖実習の日程が増えた事により、指圧師として特に重要な運動器系の観察がより多くできたのは非常に有意義だったと思います。

実習においては、まず皮膚の下には何があるだろうか、と問われました。実物を見る前に私たちが学んできた解剖学を思い起こしてから、それが実際にそうであるかを見ていくのです。

持っていたイメージと実物の差が特に大きかったのは前鋸筋でした。思ったより肉厚で面積も大きく、停止部も実際にはかなり高い位置までであり、この筋の持つであろう機能について大きくイメージが変わりました。他にも下肢筋膜や表層の軟部組織、足底筋（毎回女性に人気があるそうです）や膝窩筋の実際の位置や走行の様子など、実際に見ると大きく印象が変わることがたくさんありました。

実習中は終始和やかで、指導にあたった先生方も質問やリクエストに気さくに答えていただきました。また実習の合間にはハワイ大学の講師の方々からは米国大学でのアスレチックトレーナー科の学習について、海外の指圧の先生方の指圧観や臨床経験など、貴重なお話を聞く機会もありました。指先と脳を総動員した、非常に身の詰まった実習３日間となりました。

多くの出会いと驚きと、参加者全員が無事に帰国できたことに感謝をもって、ハワイ解剖実習の報告を終わりたいと思います。

ハワイ研修感想文

58期　竹内絵美

約一週間のハワイ解剖研修を終えて、私が強く意識したのは「生き方」でした。

尊いご献体を解剖させて頂く中で驚きは沢山ありました。私は、目・手・鼻を研ぎすませながら、その多様性を感じました。筋肉や臓器は教科書で見ていたとおりにそこにあります。ただ、「大きさ」「形」「色」は人それぞれ少しずつ違うのです。例えば心臓の左心室の厚みはとても厚い方もいれば、その三分の一ほどの方もいました。肺もまた、肺に疾患の無く亡くなった方の肺と、肺炎によって亡くなった方の肺は大きさも形も全く違いました。筋もまた同じで、筋の膨らみ方によってその方のしていたスポーツなども予測することが出来ました。休み時間、ハワイ大学の綺麗なお庭を散歩しながら思うことがありました。「身体はどんな生き方をしていたかの成績表みたいだな」と思いました。歩き方、仕事、癖、食べ物などによって、あんなにも身体は変化するのならば、いつか患者様と接するようになった時に患者様の痛みはもちろん、生き方にも興味を持っていかなければならないと強く感じたのです。身体の痛みや辛さの中にはもしかしたら、心の痛みが隠れているのかもしれません。心は目に見えませんが、解剖させて頂いた方のお身体の中に私は確かに心を見ました。この感動と驚きを忘れること無く、患者様の身体にも心にも寄り添うことのできるような指圧師になっていきたいと思います。

今回の研修を作り上げて頂いた尊いご献体の方、ハワイ大学・浪越学園の先生方、メキシコ・バンクーバーの先生方・ＨＩＳのスタッフの方、クラスメイト、優しいハワイの人々に心から感謝いたします！今年度から、私は２年生になります。この貴重な経験を胸にこれからも勉強を頑張りたいと思います。

前腕部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果

◆日本指圧専門学校……
学　　生　角本靖司、上原昌貴、菅野実希子、高橋正浩、小笠原ひろみ、中野まほ、林　勉、三原春陽、古明地由有子、藤岡慎也、前田孝政、三神恭平
指導教員　渡辺和雄、田中智子、本多　剛、黒澤一弘、石塚　寛、大沢秀雄（筑波技術大学）、森　英俊（筑波技術大学）

Ⅰ．はじめに

指圧療法は自律神経機能の改善や筋緊張緩和など、様々な生体反応を示す事が知られている[1]。

本校では、自律神経機能に及ぼす指圧刺激の効果について、研究を進め、検討を重ねてきた。これまで、健常者への指圧刺激によって、心拍数は減少[2,3]、血圧は減少[2]、筋血流量は増加[3]、胃電図ドミナントパワーは上昇[5～7]を報告してきた。これらの報告から、指圧刺激によって種々の自律神経機能に影響を与えることを明らかにしてきた。

瞳孔は自律神経支配を受け、自律神経機能の指標の一つとして用いられることから、瞳孔直径は指圧刺激によって自律神経を介し反応が起こることが予想された。そこで、2010年より、瞳孔直径に及ぼす指圧刺激の効果の検討をし、腹部、前頚部、仙骨部、頭部への指圧刺激によって瞳孔直径が有意に縮小することを明らかにした。一方、下腿外側部への指圧刺激によって瞳孔直径に有意な縮小がみられないことも明らかにした[8～11]。

今回は、これまでの報告を踏まえ、今まで検討していない前腕部を指圧刺激部位とし、瞳孔直径の変化について計測した。また脈拍数・血圧も同時に計測したので報告する。

Ⅱ．実験方法

1．対　象

実験対象は本校学生及び教職員の健常成人、計26名で男性16名・女性10名（19～61歳・平均35.6 ± 10.9歳）で、事前に十分に実験内容を説明し、同意を得て行った。

2．実験期間・場所

2014年4月19日から9月8日まで、本校の基礎医学研究室にて行った。

実験環境は室温22 ± 2.0℃、湿度79 ± 15.0％、照度100ルクスであった。

3．測定方法

両眼電子瞳孔計（ニューオプト社製、ET-200、図1）を用いて瞳孔直径の変化を測定した。

連続血圧計（メディセンス社製、MUB101、図2）を用いて脈拍数及び血圧の変化を測定した。

図1　両眼電子瞳孔計

図2　連続血圧計による測定の様子

4. 刺激方法

刺激部位（図３）

仰臥位にて、右前腕前面の正中線、浪越式基本指圧の右前腕内側部の正中線８点を重ね母指圧にて刺激した。

１点圧３秒を通常圧法にて、３分間繰り返し施術を行った。

圧刺激は通常圧法（漸増・持続・漸減）にて、快圧で行った。

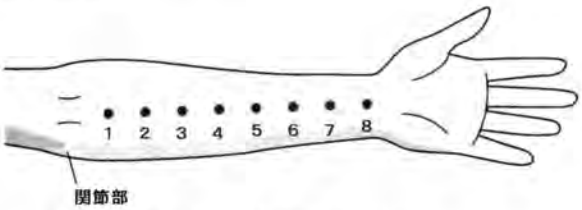

図３　前腕内側部正中８点

5. 実験手順（図４）

被験者に体調や眼の疾患などについて問診した。

26 名の被験者が、仰臥位で指圧刺激前３分間、刺激中３分間、刺激後３分間の順に計９分間瞳孔直径･血圧･脈拍数を測定した（以下、刺激群）。また、対照群として刺激群と同様に仰臥位で９分間安静状態の瞳孔直径・脈拍数・血圧を測定した（以下、無刺激群）（図5）。これらは日を変えて実施した。

瞳孔直径の測定は、1.5cm のマーキングを被験者が見える位置に固定し、実験中に目視させた。

図４　実験手順

図５　瞳孔計による測定の様子

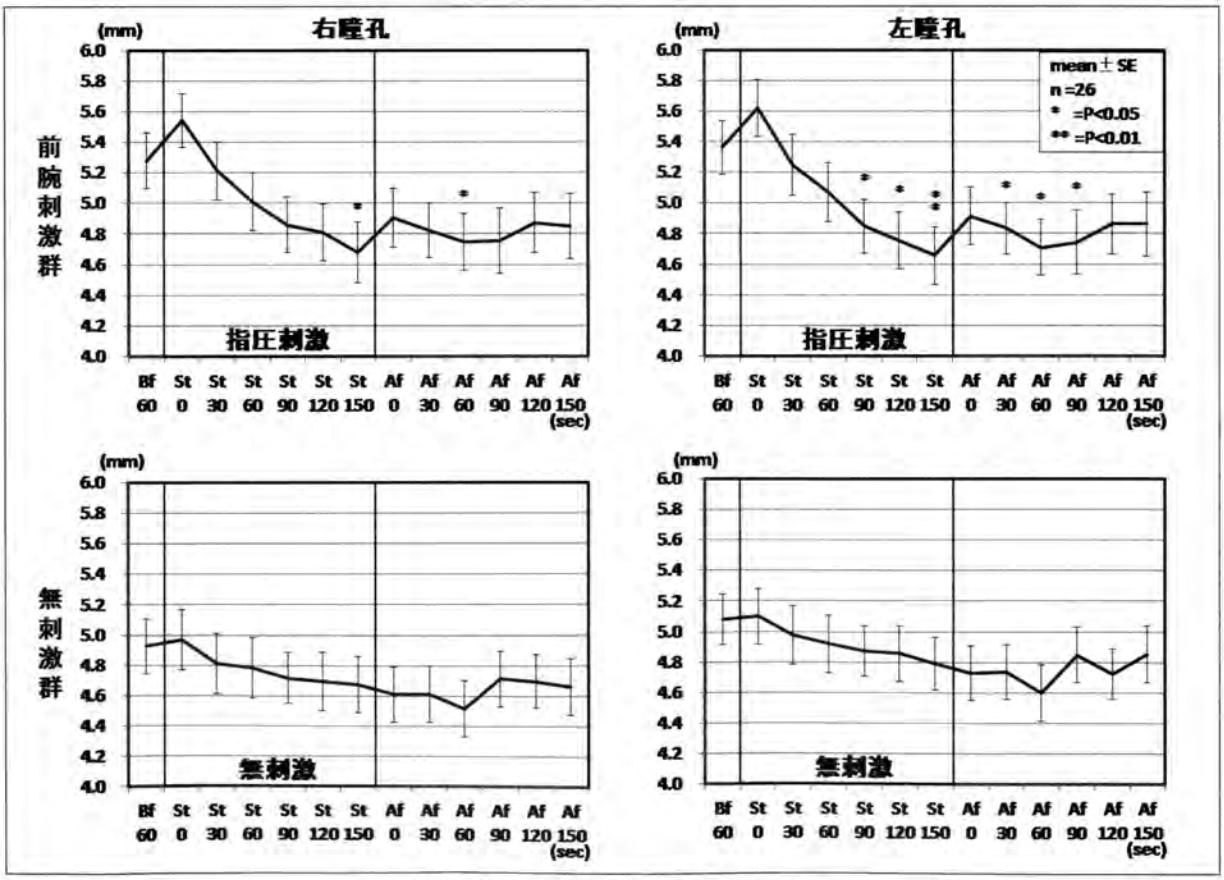

図６　前腕部への指圧刺激による瞳孔直径の変化
上段は刺激群、下段は無刺激群、各グラフの縦軸は瞳孔直径 (mm)、横軸は時間経過（sec）を示し、mean ± SE で示した。
Bf は刺激前（control）、St は刺激中、Af は刺激後を示す。

6. データ解析

刺激前 60 秒（Bf.60）をコントロール値として、刺激前（Bf.）刺激中（St.）及び刺激後（Af.）を 30 秒間隔で解析した。解析は IBM SPSS statistics Ver.22 を用いて行った。

7. 統計処理

瞳孔直径・脈拍数・血圧各群の経時的変化は、混合モデルによる多重比較（Bonferroni）で線形解析、交互作用は混合モデルによる線形解析した。有意判定は危険率５％とした。

Ⅲ. 結　果

1. 瞳孔直径について

右瞳孔直径は、刺激群と無刺激群の経時的変化に交互作用を示さなかった。刺激群の右瞳孔直径では、刺激開始直後に一過性に散大し、その後縮小傾向を認め、刺激前に比べて、刺激中150秒（p＝0.03）、刺激後60秒（p＝0.046）で有意に縮小した。無刺激群の右瞳孔直径では、なだらかに縮小していく傾向は認められたが、刺激前に比べて有意な変化は無かった。

左瞳孔直径は、刺激群と無刺激群の経時的変化に

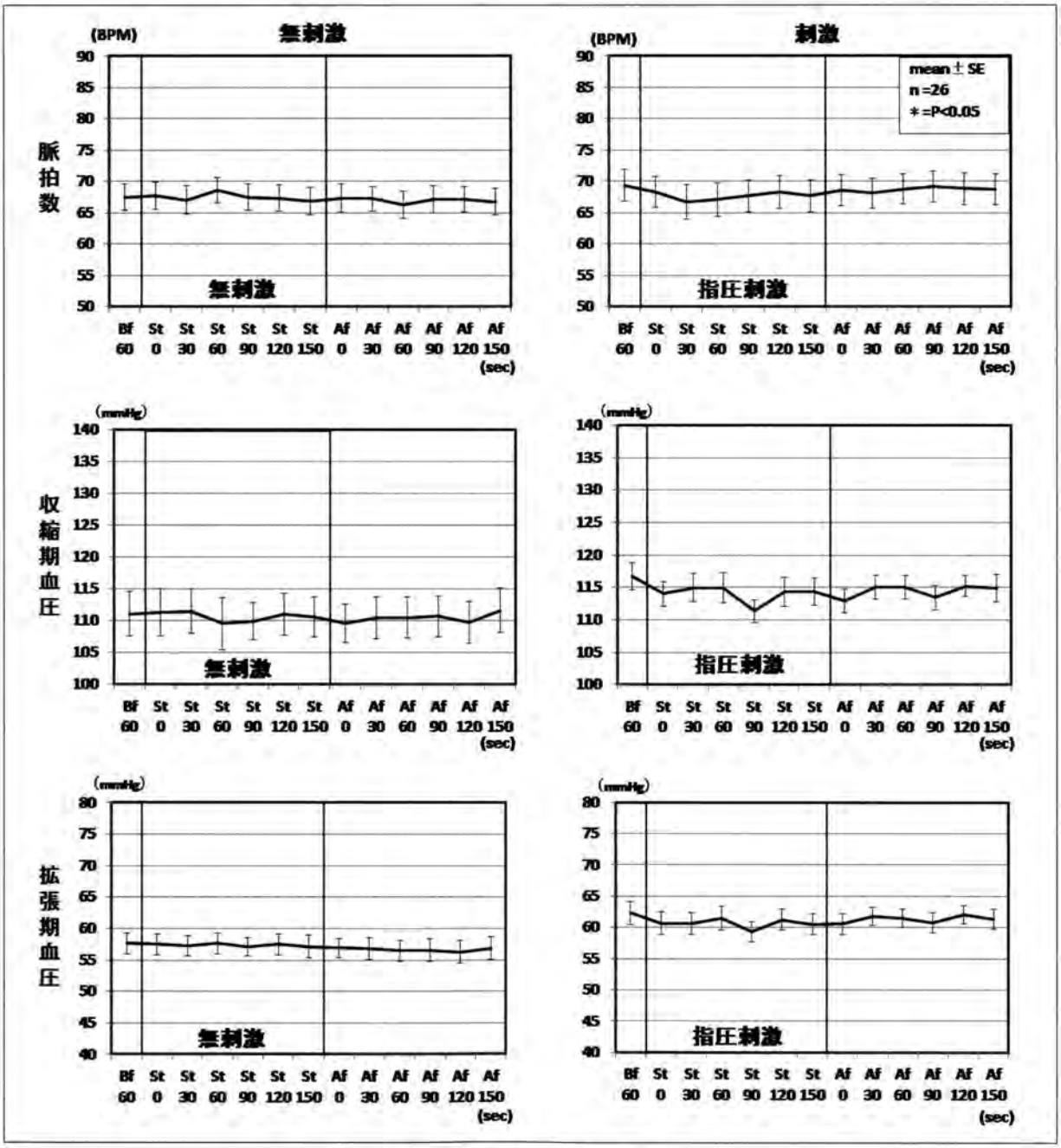

図７　前腕部への指圧刺激による脈拍数、血圧の変化

交互作用を示さなかった。刺激群の左瞳孔直径では、刺激開始直後に一過性に散大し、その後縮小傾向を認め、刺激前に比べて、刺激中90秒（p = 0.043）、120秒（p = 0.022）、150秒（p = 0.009）、刺激後30秒（p = 0.035）、60秒（p = 0.012）、90秒（p = 0.028）で有意に縮小した。無刺激群の左瞳孔直径では、なだらかに縮小していく傾向は認められたが、刺激前に比べて有意な変化は無かった。

2. 脈拍数・血圧について

脈拍数・収縮期血圧・拡張器血圧では、刺激群、無刺激群に経時的変化が認められなかった。

Ⅳ. 考　察

今回の実験では、無刺激群では瞳孔直径の変化に有意差が認められなかったが、前腕部への指圧刺激では瞳孔直径が有意に縮小した。

脈拍数・収縮期血圧・拡張期血圧は、刺激群・無刺激群を比較して有意差が認められなかった。

痛み刺激によって散瞳が起こることが報告されているが[12]、本実験では痛みを伴わない快圧で指圧刺激を行った為に散瞳は認められなかったと考えられる。

瞳孔直径は交感神経（頚部交感神経）支配の瞳孔散大筋と、副交感神経（動眼神経）支配の瞳孔括約筋によって支配される。本実験で観察された指圧刺激による縮瞳反応は、瞳孔括約筋支配の副交感神経の興奮、瞳孔散大筋支配の交感神経の抑制の両方またはどちらか一方の結果生じたと考えられる。

高位中枢の関与する瞳孔反応においては交感神経が関わることが指摘されてきたが[13,14]、Ohsawa Hら[15]、志村ら[16]は、麻酔下のラットへの鍼通電刺激やピンチ刺激による反射性散瞳は頚部交感神経切断によって影響されないことから副交感神経が抑制されて散瞳が起こることを確認しており、体性感覚刺激に対する瞳孔反応において副交感神経が重要な役割を果たしていることもまた報告されている。

昨年までの報告では、腹部、前頚部、仙骨部、頭部への指圧刺激によって瞳孔直径の縮小が有意に起こることを明らかにしており[8～11]、今回の前腕部への指圧刺激も同様に縮瞳反応が有意に起こることが示された。瞳孔反応に関して、指圧刺激により副交感神経の興奮を生じさせる可能性が示唆された。

横田ら[9]の報告した下腿外側部においては、刺激群と無刺激群を比較して瞳孔直径に有意な縮小は認められなかった。すなわち、縮瞳反応は、指圧刺激の部位によって異なることが示唆された。部位による指圧刺激での効果の違いについて、更なる検討が必要である。

Ⅴ. 結　語

健常成人と対象とした今回の実験で以下のことが明らかになった。

1．前腕部への指圧刺激は、無刺激に比べて、瞳孔直径は有意に縮小した。
2．収縮期血圧・拡張期血圧・脈拍数は変化が認められなかった。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本校学生及び教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

引用文献

1）森英俊　編集：図解基本術式あん摩・マッサージ・指圧による全身調整，医歯薬出版，2006
2）小谷田作夫，他：指圧刺激による心循環系に及ぼす効果について，東洋療法学校協会学会誌，第22号：40～45，1998
3）井出ゆかり，他：血圧に及ぼす指圧刺激の効果，東洋療法学校協会学会誌，第23号：77～82，1999
4）蒲原秀明，他：末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果，東洋療法学校協会学会誌，第24号：51～56，2000
5）佐藤広大，他：下腿部指圧刺激による胃電図の変化，東洋療法学校協会学会誌，第30号：34-38，2006
6）黒澤一弘，他：腹部指圧刺激による胃電図の変化，東洋療法学校協会学会誌，第31号：55-62，2007
7）加藤 良，他：前頚部指圧刺激が自律神経機能に及ぼす効果，東洋療法学校協会学会誌，第32号：75-79，2008
8）栗原耕二郎，他：腹部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果，東洋療法学校協会学会誌，第34号：129-132，2010
9）横田真弥，他：前頚部・下腿外側部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果，東洋療法学校協会学会誌，第35号：77-80，2011
10）渡辺貴之，他：仙骨部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果，東洋療法学校協会学会誌，第36号：15-21，2012
11）田高 隼，他：頭部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果，東洋療法学校協会学会誌，第37号：154-158，2013
12）Oono, S., Pharmacological studies on pupillary reflex dilatation. J Pharmacol., 15, 95-112, 1965
13）Ward AAJ, Reed HL: Mechanism of papillary dilatation elicited by cortical stimulation. J Neurophysiol 9: 329-335, 1946
14）Lowenstein O, Loewenfeld IE: Role of sympathetic and parasympathetic systems in reflex dilatation of the pupil. Arch Neurol Psych 64: 313-340, 1950
15）Ohsawa H, Yamaguchi S, Ishimaru H, et al: Neural mechanism of pupillary dilation elicited by electro-acupuncture stimulation in anesthetized rats. J Auton Nerv Syst 64: 101-106, 1997
16）志村まゆら，大沢秀雄，富田明文，佐藤昭夫：皮膚侵害刺激による反射性瞳孔反応．自律神経 (37)：584-590，2000

精神作業における浪越式基本指圧全身操作の効果

◆日本指圧専門学校
学　　生　中野まほ、大久保圭祐
指導教員　黒澤一弘

Ⅰ．はじめに

指圧が自律神経、関節可動域、筋肉の柔軟性にどのような影響を及ぼすか検証はなされてきたが精神活動にどのような影響を及ぼすかの検証は今までなされていない。しかし我々の行動には精神の存在が必要不可欠でありそれなくしては人らしく生きる事はできない。つまり精神活動に及ぼす影響というものは最も身近な問題である。その測定がこれまでなされていなかったのは客観的な評価が難しいというところに一つの原因があると考えられる。そこで本実験では内田クレペリン精神検査を用い浪越式基本指圧全身操作が精神活動にどのような効果を示すのかを検証した。

内田クレペリン精神検査は精神医学者であるエミール・クレペリン（独）の作成した心理検査をもとに内田勇三郎が改正を加えたもので数字が横115字、34行並んだ検査用紙を使用する。隣り合う数字を左から順繰りに加算し答えが10以上になる時は、答えの１位の数字を計算した数字の間に書き込んでいく。１分毎に行をかえ15分１セットとし５分休憩を挟みもう一度同様の加算作業を行う。回答数を作業量とし、その行ごとの変化から処理能力、忍耐力、性格等が測定される。

この検査は作業量という数字による評価が可能である。さらに50年以上使用されている検査の為、これによってなにが測定できるのかという研究も盛んに行われていることから単に計算能力が向上したというだけでなく多角的な評価ができる為、実験の趣旨にふさわしいと考え採用した。

Ⅱ．方　法

被験者は19歳～50歳の本校の教員及び学生７名、外部からの被験者５名、計12名の男女。場所は本校の基礎医学実習室、教員控室、第一～第三実技室で行った。尚、一名においては安静時学校外で行った。

本来の内田クレペリン精神検査は15分間の加算作業（前期作業）の後５分休憩を挟み同時間の加算作業（後期作業）を行うが本実験では休憩の５分の部分に85分の浪越式基本指圧もしくは同時間の安静の後、後期作業を行った。検査中は人の話し声、リズム性のある音、騒音などが聞こえないように注意した。

浪越式基本指圧は押圧時間、押圧部位等に規定が有り、それを全て足すと83分必要になる。そこに体位変換などを含むため施術時間は85分となった。

Ⅲ．測　定

本実験ではBroadmann46野の賦活が最もみられる作業開始５分間[1]即ち１～５行目の総作業量、自己受容性テストにおいて内的な安定性と強い正の相関のある15分間の総作業量[2]、加算作業によるストレスに対する抵抗性の指標に、臨床観察において最も誤答数がみられる11行目、およびその前後１行[3]つまり10,11,12行目の作業量の内最も作業量の少ない行の作業量、そして総作業量に対する誤答率、以上の部分を前期、後期で比較しその差を指圧施術群と安静群で比較した。

Ⅳ．結　果

危険率５％未満でt-testを実施。１-５行目の総作業量差（図１）、総作業量差（図２）、10,11,12行

目の内最も作業量の少ない行の作業量差（図３）で指圧施術群に有意な向上がみられた。誤答率差（図４）では有意差はみられなかった。

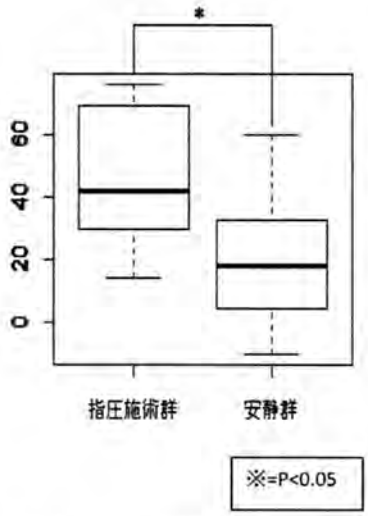

図１　1-5行目の総作業量差

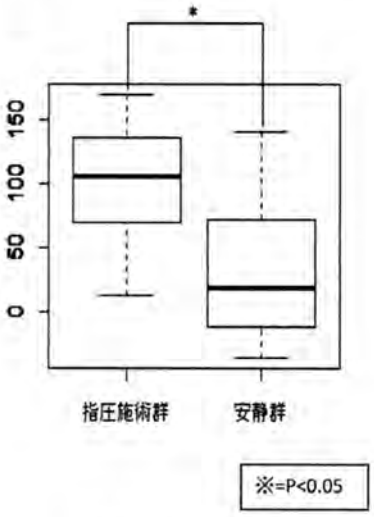

図２　総作業量差

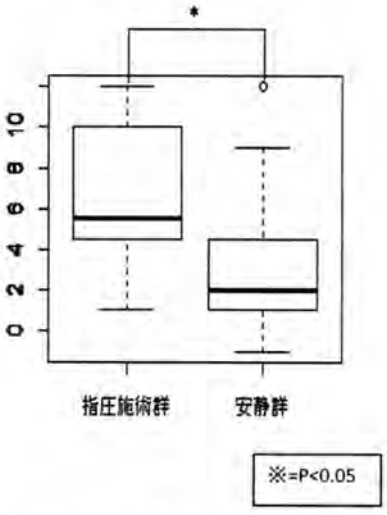

図３　10,11,12行目の内最も作業量の少ない行の作業量差

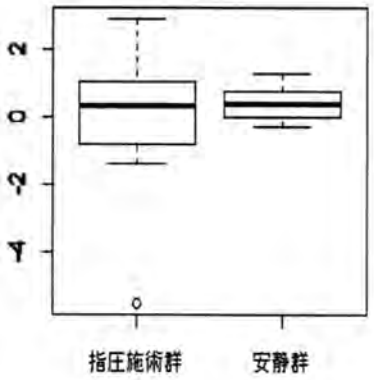

図４　誤答率差

V. 考　察

我々は特に１～５行目の作業量の向上に注目した。この部分はBroadmann46野の賦活が最も見られると考えられている。Broadmann46野はワーキングメモリーに深い関わりのある場所である[1]。ワーキングメモリーとは「行動や決断に必要な様々な情報に（脳内で）アクセスして一時的に保持しつつ組み合わせ行動や決断、つまり『答え』を導く認知機能」で正常に機能するためにはドーパミンが必要不可欠であると考えられている[4]。

このドーパミンはA10神経系、いわゆる報酬系である。快の感情に深く関わり前頭連合野に広くそのレセプターが存在する。放出が障害されるとワーキングメモリーの機能が障害され無気力になり欲求不満ストレスに対して脆弱になる[5]。それにより精神作業が障害され失敗体験が続き自己受容性の低下につながると考えられる。つまりドーパミンの放出障害は本実験の結果と逆の事を引き起こすと推測される。

また、ラットを用いた実験では体性感覚がA10神経系のドーパミン放出を促す事が示唆されている[6]。さらにハーロウの代理母人形を用いた実験においてアカゲザルの子供は餌のついた針金でできた代理母人形よりも毛布でできた代理母人形と多くの時間を過ごしていた[7]ことから触圧覚には報酬系を刺激する効果があると考えられる。

以上の事から浪越式基本指圧全身操作がA10神経系ドーパミンの放出を促す可能性が本実験で示唆された。

尚、誤答率に関して有意差がみられなかったのは被験者の誤答率が正常の範囲内であった為と考えられる。

Ⅵ. 結　論

ワーキングメモリーの機能は精神活動に非常に重要な役割を担っている。浪越式基本指圧全身操作がA10神経系ドーパミンの放出を促進しこの部分を活性し作業ストレスに対する抵抗性を向上させ内的な安定性を高め総作業量を向上させる可能性が本実験において示唆された。

指圧が精神活動に及ぼす効果については全く実験がなされていない状態であったためまだ明らかにされていない部分が多い。しかし本実験での結果を一つの切り口としこれから多角的な検証がなされることが必要である。

引用文献

1）根本樹宏　連続加算作業の脳賦活実験　日本カウンセリング学会第５回大会発表論文集;144-147.2000
2）板津裕己　自己受容性と内田クレペリン精神検査にあらわれる作業特性との関わりについて Japanese Journal of Applied Psychology;No.17.29-40.1992.
3）外岡豊彦　内田クレペリン精神検査・基礎テキスト　（株）金子書房　1973
4）澤口俊之　前頭連合野におけるワーキングメモリーの機能構築　脳の科学;20.1061-1070
5）先崎章，加藤元一朗　情動障害の治療およびリハビリテーション　脳の科学;24.577-582.2002
6）黒澤美恵子　皮膚への触刺激による側坐核ドーパミン放出　自律神経；6.15 92-94.2012
7）鹿取廣人（編）　心理学　第4版;270 財団法人東京大学出版　2012

学園祭

本校の学園祭が、平成26年7月19日（土）に開催されました。

校庭での模擬店、坐位指圧、校舎でのフリーマーケットコーナー、チャリティー指圧、喫茶店、イベント等…例年以上の盛り上がりを見せ、一日楽しい時間を過ごすことが出来ました。

学校名物ともなった阿波踊り「指圧連」が、さらにアツく盛り上げました。

また、同時に学校説明会が開催され、本校の特色や授業内容等を受験希望者に伝えることができ、非常に意義深い時間となりました。

今回で第10回目になりましたが、楽しみにしてくださっている方の声を聞くと、年々地域に根付いてきているように感じます。

委員をはじめとして学生達は各コーナーの充実をはかるべく頑張っております。

お知り合いの方、入学を考えている方などお誘いあわせの上、ぜひ、足をお運びください！

最後に、学園祭にご参加いただいた皆様に心より感謝いたしますと共に、学園祭を盛り上げてくれた学生に心よりお礼申し上げます。

今年の学園祭は、7月18日（土）に行います。

オープンキャンパス

下記の日程でオープンキャンパスを開催しています！

☆　５月２３日（土）
☆　６月２７日（土）
☆　７月１８日（土）学園祭
☆　８月　７日（金）※18時～21時
☆　８月２２日（土）
☆　９月１９日（土）
☆　１０月１７日（土）
☆　１１月２１日（土）
☆　１月　９日（土）
☆　１月３０日（土）

時間：１３時３０分～１６時３０分　（※８／７のみ夜間開催）

日本指圧専門学校ならではの模擬授業や指圧体験ができるプログラムとなっています♪
学校に、また指圧に少しでも興味をお持ちの方はぜひお越し下さい。

参加方法：回によっては、お電話による事前申し込みをお願いする場合があります。
詳細は随時ホームページでご確認頂くか、お電話にてお問い合わせ下さい。

平成28年度　浪越学園　日本指圧専門学校　入学試験案内

試験名	受付期間	試験日	合格発表
①社会人入試　一次	８月27日（木）～９月３日（木）	９月６日（日）	９月７日（月）
②推薦入試	９月28日（月）～10月１日（木）	10月４日（日）	10月５日（月）
③一般入試　一次	10月29日（木）～11月５日（木）	11月８日（日）	11月９日（月）
④一般入試　二次	11月26日（木）～12月３日（木）	12月６日（日）	12月７日（月）
⑤社会人入試　二次	１月７日（木）～１月14日（木）	１月17日（日）	１月18日（月）
⑥一般入試　三次	１月28日（木）～２月４日（木）	２月７日（日）	２月８日（月）

＊願書受付期間、入試科目につきましては、日本指圧専門学校事務局までお問い合わせください。03-3813-7354
＊⑤、⑥の社会人入試二次と一般入試三次は、一般入学試験（第二次）で定員に達した場合は実施しません。

寄付金賛助者ご芳名

平成二十六年度　三〇四件
七六六、〇〇〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。〇数字卒業期（敬称略、順）

☆二万八千円

㊹志賀章宏

☆二万円

㉗川原善次郎

☆一万八千円

㉝立野忠義

☆一万円

③稲場啓護③長﨑成洋⑰小林秋朝⑲池永卓雄⑲青木宏㉑永井誠㉔藤森増雄㉚宮田經子㉝関澤陽一㉞丸井秀人㊲襲田佳男㊴横川純夫㊴柴田芳市㊿岩本健一

☆八千円

④石原博司⑪須田麻紗子⑭萩原忠雄⑱原忠雄㉑川本博子㉓問田十喜子㉕沢畑碩亮㉕岡田悦子㉕鶴見せつ子㉘結城國夫㉚石川明子㉜福井素子㊱小倉義夫㊲石塚怜子

☆四千円

㉜鈴木啓一

☆三千円

①大日方子西②皿井千代子③田中利④村越てい子⑤中川タイ子⑧藤井トシ子⑧藤井正弘⑧武田紀行⑪佐藤脩⑫松本チヨ子⑫柳澤光男⑬椿行雄⑯河井昭治⑯入山君子⑯國田イト子⑯長瀬治郎⑰糸井正子⑰戸来みや子⑱井芹幸夫⑲小野寺英男⑲飯島幸雄⑲榎本紀次⑲舟津昌亮⑳福田ゆきゑ⑳海上富雄⑳川島栄㉑相野谷眞㉑服部青香㉑小美濃隆㉒本間詩朗㉒橋本二郎㉓馬場正義㉓中村一夫㉓二階堂隆行㉔新田悦子㉔上野末次㉕糸井主好㉖本間裕㉗川畑女恵子㉗浪越雄二㉗田中克幸㉙関根康博㉙石神登志雄㉛阿部専太郎㉜宇佐美康夫㉜広明文夫㉝桑原浩子㉟中山節㉟木暮晴雄㊱古島昇夫㊱粟村輝子㊲平野広樹㊳木村龍一郎㊴大谷浩二郎㊴板谷智㊴柴田ひろみ㊵田沢佳世子㊷馬場雄一㊸堀口明義㊹小野朋子㊹小松和幸㊺北條崇成㊼當麻康江㊼稲生妙子㊽浅田秀男㊾大島和夫㊾大久保龍㊾田中功㊿山本みどり㊿田中慶篤51岡本泰明53石田浩㊺桐生かおる㊺宮下英敏

☆二千円

①小松﨑義雄②小松﨑ツネ③高岡正三④山川友枝⑩林邦子⑭菊地善信⑭高柳茂男⑭林多恵⑮菊地和江⑮佐藤肇⑯三宅隼夫⑰平井伸穂⑰平井浩子⑲鈴木純隆⑲佐藤玄祥㉑高味沢定男㉔中村陽子㉔篠原よ志子㉗倉地徳成㉘小林きよゑ㉘中島祥景㉙飯島雅夫㉟平野晴彦㊳狩野かよ子㊳岩下禎夫㊴佐藤清子㊵小谷田作㊸川村武㊹安倍克己㊹休宮清彦㊺大森紀代子㊺高内英美㊺山﨑陟㊺鈴木喜美子㊻秋山真二㊻川鳥健嗣㊾荒海恵子㊾久保勉㊿植松祐輔52岩井満53河内誠二53畦地沙智子54佐野忠優54加藤恵美子54髙島加代子

☆一千円

①下田久子④瓦和夫⑥石原和信⑦鈴木篤⑨野口幸子⑪細谷節子⑪小坂八郎⑪村松カチ子⑫岩切秀樹⑬高橋宏⑬鳥実専二⑯下野貴美子⑯竹村ナミ子⑯本間博㊷江藤久男㊷金井俊潔㊸柏崎初子㊸相澤文隆㊸庄司丈晃㊸関口渡㊸中野俊夫㊸田中久雄㊹平井正子㊹石井勝雄㊹入江徹㊹了戒正人㊻清野幸夫㊻岡野昭㊻重森祐二㊻関根展史㊼木下真一郎㊼松下友香子㊽小井川隆㊽公平尚行㊽水野恵里㊽松本修㊾高木論㊾中盛祐貴子㊾近藤恭史㊿菊崎カデナ㊿込山哲郎㊿藤本かおる㊿小川敬子㊿稲場幸夫㊿近江千代子㊿中西信之51岡本京子51廣田哲也51望月敬子51佐藤光明51田村威樹52立部正則52永井努52山岸かほる53浅谷健介53佐藤重雄53眞﨑あゆみ53長谷部佳代54櫻田知也54戸前伸枝54安藤春美54永瀬友香子54濱田大輔54湯浅麻里55大橋栄之助55東大介55小峯求55土屋貴洋

編集後記

伝通院指塚の桜もさよならを告げ、あざやかな新緑が芽吹き穏やかな春を迎えようとしています。五月晴れの爽やかな陽の光と空気に包まれ毎日が活動的になってきます。同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年は年頭を過ぎ、国際的に痛ましい事件が起き、私たちのこころを傷つけました。

今こそ「love and peace」「愛と平和」を願い、これからを生きて行きたいですね！

浪越徳治郎先生は指圧という技術を広め、同志を集い、世界平和へと導こうと志されました。我々同窓生は浪越徳治郎先生の門下生として、今こそ日本そして世界の平和の為、指圧という素晴らしい技術を以て日々努力し、活動して行こうではありませんか。同窓生は同窓会を通じて一つになり、指圧を通して「母ごころ」のある人間本来の「愛と平和」「幸せ」を実現して行きましょう。

今年も浪越学園は１１８名の新入生をお迎えしました。元気に挨拶をしてくる新入生たちに期待をし、また共に成長して行きたい気持ちでいっぱいです。

６月の同窓会総会では同時に新入生歓迎会も行われます。同窓会会員の皆様是非お誘い合わせの上、ご参加頂けますようお願い致します。

金子（智）

日本指圧専門学校同窓会

予算案

自　平成27年４月１日
至　平成28年３月31日

収　入　の　部			
	26年度予算	26年度決算	27年度予算
前年度より繰越	7,302,695	7,302,695	6,735,527
入会金	1,800,000	1,635,000	1,770,000
運営費	1,010,000	1,024,000	1,000,000
総会収入	600,000	628,000	600,000
預金利息	200	1,922	1,000
その他収入	5,000	0	0
寄付金	900,000	766,000	900,000
講習会費	100,000	168,000	100,000
新規事業引当金戻入益	0	0	0
収入合計	11,717,895	11,525,617	11,106,527

支　出　の　部			
	26年度予算	26年度決算	27年度予算
総会費	2,000,000	1,496,424	1,800,000
講習会費	800,000	599,136	800,000
会報発行費	1,500,000	1,352,893	1,500,000
通信費	700,000	588,344	700,000
印刷費	100,000	0	100,000
渉外費	300,000	134,160	300,000
交通費	300,000	270,188	300,000
慶弔費	100,000	26,000	100,000
事務用品費	30,000	5,663	30,000
雑費	50,000	31,902	50,000
情報管理費	300,000	67,516	300,000
消耗備品費	50,000	606	50,000
役員会議費	50,000	7,496	50,000
設備使用料	50,000	36,000	50,000
予備費	100,000	0	100,000
新規事業費	300,000	23,760	300,000
減価償却費	2	2	0
新規事業引当金繰入	0	0	0
事務活動費	500,000	150,000	500,000
支出合計	7,230,002	4,790,090	7,030,000
次年度繰越	4,487,893	6,735,527	4,076,527

平成27年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会　長　川原善次郎　印
会　計　高橋雄輔　印
　　黒田美稚子　印
監　査　渡邉和雄　印
　　岩本健一　印

貸借対照表

平成27年３月31日現在

資　産　の　部		負債及び正味資産の部	
現金	7,008	新規事業引当金	0
三菱東京UFJ普通口	2,644,624		
ゆうちょ銀行	4,083,895	（正味資産の部）	
備品	0	余剰金	6,735,527
合計	6,735,527	合計	6,735,527

収支報告書

自　平成26年４月１日
至　平成27年３月31日

収　入　の　部			
	26年度予算	26年度決算	内　訳
入会金	1,800,000	1,635,000	58期　15,000円×109名分
運営費	1,010,000	1,024,000	2,000円×512名分
総会収入	600,000	628,000	8,000円×60名　ご祝儀148,000円
預金利息	200	1,922	預貯金利子
その他収入	5,000	0	
寄付金	900,000	766,000	304名
講習会費	100,000	168,000	宿泊代実費
新規事業引当金戻入益	0	0	
当期収入合計	4,415,200	4,222,922	A
前期繰越収支差額	7,302,695	7,302,695	B
収入合計	11,717,895	11,525,617	A＋B

支　出　の　部			
	26年度予算	26年度決算	内　訳
総会費	2,000,000	1,496,424	会場使用料：リーガロイヤル東京　講師謝礼
講習会費	800,000	599,136	実技研修会、母校、地方研修（箱根）
会報発行費	1,500,000	1,352,893	会報第35号発行：旭出版
通信費	700,000	588,344	郵便別納料金、郵送料、ハガキ代
印刷費	100,000	0	
渉外費	300,000	134,160	指圧協会、母校、祝い金等
交通費	300,000	270,188	運営委員会交通費
慶弔費	100,000	26,000	香典、58期入学式祝い金
事務用品費	30,000	5,663	今井文具：封筒、領収書、筆ペン、クリアファイル
雑費	50,000	31,902	委員会お茶代、両替手数料
情報管理費	300,000	67,516	名簿データCD作成、同窓会ホームページ管理費用
消耗備品費	50,000	606	乾電池
役員会議費	50,000	7,496	実技研修会打合せ、総会打合せ、お茶代
設備使用料	50,000	36,000	母校へコピー機、電話使用料として
予備費	100,000	0	
新規事業費	300,000	23,760	同窓会長賞記念品贈呈（58期生）
減価償却費	2	2	ビデオカメラ償却
新規事業引当金繰入	0	0	
事務活動費	500,000	150,000	講習会スタッフ手当等
当期支出合計	7,230,002	4,790,090	C
当期収支差額	−2,814,802	−567,168	A－C
次年度繰越	4,487,893	6,735,527	A＋B－C

平成27年度　通常総会・懇親会（新入会員歓迎会）

１．と　き：平成27年６月14日（日）　10時

２．ところ：リーガロイヤルホテル東京　２階
東京都新宿区戸塚町1－104－19
総会・記念講演　エメラルド
懇親会（新入会員歓迎会）　ダイアモンド
TEL　03－5285－1121
URL　www.rihga.co.jp/tokyo/

交　通：JR 高田馬場駅よりホテルの無料シャトルバスで約10分
都営バスで約25分
東京メトロ　東西線　早稲田駅より徒歩約７分
東京メトロ　有楽町線　江戸川橋駅より徒歩約10分

３．内　容：総会（10：00～10：50）
活動報告、会計報告、監査報告、予算案
・記念講演（11：00～12：30）
「道元禅師と菩薩行」
講師　倉澤幸久先生
桜美林大学国際学研究科専任教授
・懇親会（新入会員歓迎会）（12：30～15：00）

４．懇親会（新入会員歓迎会）費：8,000円（当日納金も可）

５．申　込：会報誌に同封されておりますハガキにて出欠をお知らせください。また、懇親会（新入会員歓迎会）参加の方は会費8,000円を同封の郵便為替用紙にて事前に納めていただきますと、受け付け事務の混乱が防げますのでご協力を御願い致します。